山、徐三氏による繋門委員会議が 日本前中は、鑑道問題は観察、古 つて保養からり義東軍處置問題は 関東で表の○氏し各自塾に引電 製工であるが、その回職が未だ3 見せず、支那側電、敷剛代表、義 年前こ見られてゐるが、これが 動してゐるが、その回職が未だ3 見せず、支那側電、敷剛代表、義 年前こ見られてゐるが、これが 動してゐるが、その回職が未だ3 見せず、支那側電、敷剛代表、義 年前こ見られてゐるが、これが 動してなるが、これが 動してなるが、これが まず、 を はれた後、五日午後から第二回本

直通の鑑選票院会議第二日目は四大連会議における泰山、北線列車

回訓到着はあすの

に司法及び司

人選が具體化せてむる事の歴史の南洲國邦の山大を置る事のは人を置る事

各種の登記法を制定し併せて

大村百蔵氏(京城新聞社長)局上杉浦忠 蝉氏(関東颵高等法院長)献任挨拶のため四日市内各

抗日會の

北平洋貨業決議

0

察職を見るが如し。 ですが、まア、今後うんさ事業を 無滞會議いよくとなった。 ですが、まア、今後うんさ事業を 無滞會議いよくとなった。 ですが、まア、今後うんさ事業を

久しぶりに料理ら

もい料理な前

車輛分配問題等

細部に亘り折衝

鐵道專門會議第二日

【北平四日餐園通】灰火されて事務所の大半を焼いた流日彩園館が 移所の大半を焼いた流日彩園館が 移所の大半を焼いた流日彩園館が 様能して園館提唱會さ合所する事 になつたので、北平の洋質同製館 になったので、北平の洋質同製館 には田川總會を開き 一、抗日舎に寝取されて居る日質 た商人に返還せよ

数字的問題で

歌)鐵道所有

店にある日貨の販賣を自

日支代表けふは休養

は三日で第四週目に入ったが、マーに日本側オブザ

安國通」經濟會議

交渉行惱み豫想

流洲國公使館又は司法省内に置 立法委員の交通上の關係な考慮 と場合によりては起草委員會を と場合によりては起草委員會を

政治的問題は總て

今後の外交々渉に

能問題の拠定は避けて實際上の直とける食器においては一切の政治とは、大寒災の下に開かれたが、大連に氏寒災の下に開かれたが、大連に

重車の分配問題等も議

會等に提出した

言ふ人間が、現に死んで居るのでりませんよ。なにしろ、何百人と

を動力も無くない。 でお白だけは並べ立て、居る、地、ひますが」 でお白だけは並べ立て、居る、地、ひますが」 でお白だけは並べ立て、居る、地、ひますが」 でれて、造版の問題に別さして でお白だけは並べ立て、居る、地、ひますが」 だれ?」

ぎまなきやならないだらうさ思

は、一向、酔ひも廻つて来なかつは、一向、酔ひも廻つて来なかって来なかって水ながで

働さしても北つ

日ウ通商條約

してゐたのだから世話あない。 「なかく」 大問題だな」 「なかく」 大問題だな」

の睫える家では、彼の野児が静ん とすさ消えて居るのだ。耐も、鍵の音がなったのでは、彼のために動いて

一味が悪化するさうな。

も、この際、社長さんには、早速

八月正式調印

東京四日登崎道 リウルグアイ、 東京四日登崎道 リウルグアイ、 東京四日登崎道 リウルグアイ、

股同氏方針を語る

行發日四月七

界 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人輔網 盛武 村本 人馴印 地番一冊阿閬公東市連大

小會運動は表面化せん は全人

「揺畜を聞かされ全く失望してしまつたが、更にアメリカの繁明が殲滅的な塵核教師にりの語句を用ひてゐるのは頗る不大統領が現在の殘において共同覚言を受謝出来ねさいつてゐる點になほ一樓の望みた繫いでゐた各國代表も、ハル長官の に對する非難を强調したものだけに、各方面を失望させたに過<equation-block>に対する非難を強調したものだけに、各方面を失望させたに過感替認問題につき何等其態を示さず、金本位ブロック諸國が爲者安定世界を言

る一般地象はこの上館はで総議が続ける理由なる、金本位諸國は公然會議休會の運動を開始すべる日餐園通」諸大國中央銀行代表及び金本位諸國墓門委員會総は三日午前十一時より除職、アメリカの勢明につき総議と

の國際通貨方策 國務長官の聲明內容

金本位國が共同宣言

整的成果進捗の週間さなるべき微ック議長が管務期徐したやうに見

我代表は離脱國として行動

休會機運



次館職(七月三日)諸事に闘する【東京四日養國題】北獺突渉第三 コムミユニケ 滿洲國司法制度 四次會議

確立に寄典

皆川司法次官渡滿

中心に滿洲國一般法制の確立を法行政に練達の土を駆げこれを

連繹外着の豫定四日午後六時大

その組織任務においても時世の壁

法、民法を立法し三審制を

就任挨拶の爲め四日市内各方面就任挨拶の爲め四日市内各方面

ボグラニーチ 職子るこさの望ましたこと 野助系及が文書は線かじめ上程 野歌系及が文書は線かじめ上程 野歌系及が文書は線かじめ上程 野歌系及が文書は線かじめ上程 野歌系及が文書は線かじめ上程

「東京三日餐園師」軽率省で1月

陸軍新聞調查 兩班を統制

0 提案內容

曲された薬師の提通コ三日の第三次

如くさ見られて

一部隊は八達徽 における支那兵の移動)

一部隊は八達徽 における支那兵の移動)

上 1 一部隊は八達徽 における支那兵の移動

上 1 一部隊は八達徽 における支那兵の移動

上 2 一部隊は八達徽 における支那兵の移動

上 3 一部隊は八達徽 における支那兵の移動

上 4 一部隊は八達徽 における支那兵の移動

北平市内を通過して 南下

は後の北麓の經濟的價値に がまするに関し、ソウェ は後の北麓の經濟的價値に満洲

た、師ち殿園巡殺及び財幣事業を開始した、その結果如何なるものエート政府の有する北銀合統権でこれを陸軍省内の公武機關にした。 との代散網性に関し満洲國権はソもあるので、陸軍省官線を改正した。 との代散網性に関し満洲國権はソもあるので、陸軍省官線を改正した。 との代散網性に関し満洲國権はソもあるので、陸軍省官線を改正した。 とのは、 のの代散網性に関し、 のの代散網性に関し、 のの代散網性に関し、 のの代散網性に関し、 ののに対し、 のに対し、 のに対し、

を受していなし、と、はしては、この際、大は、それに従って、何とても出しく あまり没義道なことはして貰ひた。 ないな」と、財選は云つた。 ことをするつもりはありません いた。 財選は、出来るならば、そのが強選が間違つてるたとか、重い、生性、連絡脱ば、一時間にかりが催れるとでも言ふのならば別で、会社 いまっても言ふのならば別で おばれるとでも言ふのならば別で おばれるとでも言ふのならば別で おばれるとでも言ふのならば別で 方は、きればかりますが、どうない能である。 た時間はかりありますが、どうないはつった。 かかに 関連に 出来るならば、その終意法が問違つてるたとか、重います?」 かで、生性、連絡脱ば、一時間にかりがしていますが、とうないに従って、何とても出しても出しています。 策を並て、いたゞけば、吾々の がは、それに從って、何さても出 來るのでございますから」 (133)

一類さして軍事調査局又は情報局のさなつて現れるか不明であるが に調査器で懐釈器の二點を置く事の名を以つてする一局としこの中

が、さう云はれ、ば致し方がなかった。そのま、、厭遊にはまるでなかつたかで、さう云はれ、ば致し方がなかった。そのま、、厭遊は、月間に 王 虫 殺

ごんな害虫が出ても!! いつ盛夏になっても!!

をは、寒者たちの、さんざめく 悪犬の無人の海場にさかまく芸術 様犬の無人の海場にさかまく芸術



これさへあれば

一行は往後三週間除、その行 一行は往後三週間除、その行 一行は往後三週間除、その行 一行は往後三週間除、その行 一行は往後三週間除、その行 一行が 新京な出費した関係院「無機膨 マ・・・ 一行が 新京な出費した のは去月十日、ハイラルへつい をした。 一般を向外に紹介すべき「明け行 で居るが右に願し一行中の恒粧處 のは去月十日、ハイラルへつい をい のは去月十日、ハイラルへつい をい のは去月十日、ハイラルへつい で のは去月十日、ハイラルへつい で のは去月十日、ハイラルへつい で のは去月十日、ハイラルへつい

亞細亞の秘境撮影

西部滿洲國』

情報處の撮影班歸る

海

0

凉

日

蘇聯、我抗議を容認

御陪食の光榮

人會問題に直面

辯護士會の形勢混沌

兼種目を嚴選

工業用地の一

されてゐる

世餘種類の工業家に

土地を貸付ける

五

津田少將參內

東上した滿洲國の家理團一行

の各宗教際徳其の他の視察のため一日午前八時三十分東京縣養人派の宗教郎「家理」こ云ふ歴徳の各地代表一行十餘名が息逝日本派の宗教郎「家理」こ云ふ歴徳の各地代表一行十餘名が息逝日本

身庖丁

貝を脅迫强奪

永樂街質屋に朝强盗

料理店は長春時代その儘に市内に「新京電話」新京の現在に於ける

新京に三業地

現假保他建雜拂 作款 込

一般の上本社の語 上領になる機様である 上領になる機様である

要の○に向ひ當分同地唐山間の影響 かあるので○○○は明朝天津縣 神 でのあるので○○○は明朝天津縣 神 でのあるのでの○○は明朝天津縣 神 でのまるのでの○○は明朝天津縣 神 でのでのでは明朝天津縣 神

第五回營業報告



してゐるこ

蘇聯汽船の

【小楼四日養園通】北海道警察部より派遣された武装警覧談に三十日早報北千島勝制留島に強着、監中同島附近に坐戦らたソウエート帝派艦ホラセエセフ號の教脈作とた治艦四千郎緩一隻百鬼接近歌は三十十十一治艦四千郎緩一隻百鬼接近半 武裝解除 北千島に於て

二人組拳銃强盗が 八二名を殺傷

工業の濫興を工業用地に工場

分項機關部に故障を生じ約三百米操縦飛行場上空飛行中午後六時十一乗アプロ五〇四號約百二十馬力を

参三十餘種類

今曉奉天で大膽な犯行 の高田な職種で練り上げ懐中にあ には早朝から屋上高く星候旅が掲記されてある。大連の同風鏡事館

記念日祝盃

新京の土地貸附

練習飛行

酸造等の製工業

大分縣生れ樹水子居住自動車運輸

半点り帯場、洋中日中八八下八八

急出

*

語言語

其他脚贈答用として格好の日豊富・

町磐城町角・電三四三五

小心的類

運轉手を檢束

二名墜死

日滿飛行學校

主部標等でした氏

一〇二一氏を同

滿鐵の新社宅街附近

大財職地に新築中である滿蹶社宅 大財職地に新築中である滿蹶社宅 は11下完成途上にあるがこの社宅

のご見られてかりこれが防止策さしその間利権屋が策動跳梁するも

慶大

慶應野球部で 野球部來征 來る十八日門司出發

のもさに十二日東京職食浦鉄選征のもさに十二日東京職食浦鉄選征 で試合をなら贈塗郭鋭総由京城で 英連に向い大連、紫天、撫殿、新京 文連に向い大連、紫天、撫殿、新京 文 佐藤勝つ【ウインプルドン を定め、コアーで破り昨年の雪 のでな遂げた。 と呼を遂げた。 はたもの七名は顧る上成織で約一切たもの七名は顧る上成織でから手幣をいて班覧の土氣訓練のため手幣 時間の後無事終了した

坂本部隊勇士の

英靈を祀る

土日錦州で慰霊祭

岡(二疊)牧野、九里(三疊)5 井(捕手)河津、櫻井(一疊)5 (投手)三宅、灰山、岸本、東 態である 日活浦家班凌陽信夫氏一行な迎へ 浦洲映画人協會では目下來連中の 淺岡氏歡迎座談會 オースチン バインズ、佐

路からは鑑山底都保長が代表さして何れも髪がするとになつた。 一般の確保には玉田、響識の総に此識を塗した坂本部とので幾つで、 を執行すること、なり索天からは栗野地方事務所長が溝鑢正副縄或と市民 を執行すること、なり索天からは栗野地方事務所長が溝鑢正副縄或と市民 を執行すること、なり索天からは栗野地方事務所長が溝鑢正副縄或と市民 を執行すること、なり索天からは栗野地方事務所長が溝鑢正副縄或と市民

特別列車

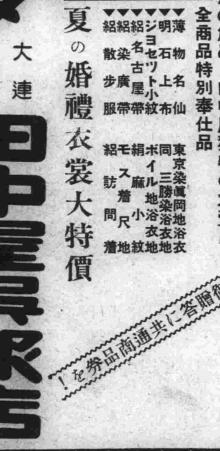


南東の風(晴)時々る H

りよ日五月七



満博記念の爲め



0

田中屋獨特の大賣出し



イワキ町

大州車な際山に向け出数せもの が事際山に新春したが北京総路 では夏に明四十年前十一時半家 では夏に明四十年前十一時半家 では夏に明四十年前十一時半家

和七年度) 例ティー 今週より毎水曜日 - ダンス會期日變更

午後五時より七時半迄とし來る五日の水曜日より 實施致しますから相變らず御引立を願ひます

贷計 方 之 100、八八四、八七七・五七

本前假株 計期期 100、000、000・000 回大、1号記・セル 回大、1号記・セル コスカ・コニ コスカ・コニ コスカ・コミカ・コ 100、人ご四、人七ヤ・ガセ 日の 分 回 人 100、人ご四、人七ヤ・ガセ 分

星ヶ浦

ヤマ

ホテ

ル

さなつてゐる 現在の料理店等はその鑑存置せしてかまらの失先さて同器では鑑起、流所が製まるこさにならう、信に要確した怪寒及び紫鏡強盗が、べきものは概密敷護されるのでして、人人の表表が、先日の密ることとなったが論故に許可さる 野窓を難はれ珍糠の途を逃るものりることになり一流所は自然その物理店等はその鑑存置せし けることになり一流所は自然その 取締役社長 伍堂 卓雄

歌ー今晩です
明大軍捷つ?大連軍捷つ?

紅槍會匪

0

大倉土木鵬保の市内大江町八番地駐職線敷設工事に従業中であった 武器を寄附 東三丁目三六武田楽院 大阪堺市沙林寺町、大阪堺市沙林寺町、石人村送いなく 中ヶ良楽ありいる 人名迷いなく 中ヶ良楽の月や仏神迷いなく 大阪堺市沙林寺町、石人村迷いなく 本手紙下さいませ、 かりいろ/全を選まずおは別の力をを選まずおは別の力とも響なく安全にヨカリの方と、お迷いなく

新舞踊 (振付) 藤間勘奈津師 B、島 の 娘……………

▲本格的、正眞盆踊り近日擧行

(應援團特別餘興)

D對抗野球ダンス第二回戦

役所を訪問、市立質業學校の教育の加藤眞利氏は四日午前十時ごろ市加藤眞利氏は四日午前十時ごろ市

圖親所漢洞附近で紅槍會師の襲撃を持ち込んだ右は昨年十月ごろ敦 兵統一挺されい房のついた衛四本資料に寄附したいさ赤崎の第式歩 を受けた際分捕ったものであるさ 御宴會向各種御料 答室 全部改造、 居ます 料理人を雇入、 味に全力を捧げ 新たに北平よ 館作業服とズボンボ線厚司

り、派出所へ連行されてからも警 ・ で放人と高いてが、 で放人と高いて離れてぬるのを近 で放人と高いて離れてぬるのを近 で放人を高いて離れてぬるのを近 で放大を高いてが、 では意するさ同巡査に食ってか、 では、一次の出所である。 では、一次の出版が若に 野するので窓に公務執行城害で<u>椒</u>男行政の非な攻撃し不穩の設静を 察行政の非な攻撃し不穩の設静を 滿藝妓歡待 御希望に依り 料 共 和

和複

第三回女看守募集

一十六歲以

なので金州の西海岸に新しく飛行航空警察では継承の飛行場が狭隘

航空警察演習

● れたし● の希望を有する者は同日迄に其の旨申込まで● 前回の試験に出頭せざらし者にして且採用行 提出のこと一 提出のこと一 提出のこと一 提出のこと一 の希望者は七月九日迄に履歴書を當事務局に

洲大博覽會

連汽

船幣株

高基長大 雄 養 着 着 着 養 高 雄

三旦 五五 八五 圓圓雄

七月 七月午前十時 七月十四日午前 十四日午前十時

長 直

特料

かさんさいふ、れつきさしが、ここへころがり込んだからならいふが好いや。おいら、出入りが起つたのは五郎兵衛さん

~ これまた経歴一ケ年の長期短続が

ち、漱ざない工夫をつける」 「なるほど正確から、ものを考べ もう一つ、奥を考べるさ、私はさ うばかりも陽らないさ思ふれ」 「まだ奥があるのかい」

連した少女舞が四日から

日

して特に兩日とも 評を博し、連日滿員しました、その御禮と 評を博し、連日滿員しました、その御禮と で公開します。

ダセシンヤ伊藤 長兵

映樂館 五日一日限り天眼通黄金時代

王攘夷大

(日曜水)

「ほほほ、おい鰯さん、仕方がれ

おざんさんを引渡さない算段だが「ヘン、おだてなさんな。そこで

旅順公開

特した巨豪稿。 博した巨豪稿。 博した巨豪稿。 博した巨豪稿。 東京中の白屋稿

入江 たか子共演

能で賣れる

九二七南電・三七九阪替振

學校の成績

できない。時にいい時にになっている。

浴で穴治る

武廉經濟量藥品部

かどや油舗

學與人員 五十名

唯滿 一蒙

認 滿洲自動車學校

樂光之上無

瀧の白糸」

こいが考へごころだし

でも持つてかれる分にや、ごうにの女房だ。あの人の智守にごこへの女房だ。あの人の智守にごこへ

て出事ならなけれ、何とろ、相手「私ん」

はつて、こつそり自分が引つ張りさんぢやないよ。私の手前だけはさんぢやないよ。私の手前だけは

分のものかそつくり

沿線各地巡衛 からこの程

共演した山岳映畵――銷夏映

屋をぶちこわしにか

あいつらが女鹿

をという。 をという。 をという。 をという。 をという。 をという。 をという。 をという。 をといから。 をという。 をという。 をという。 をという。 をがら。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがい。 をがしが、 をがしが、 をがしがし。 をがしがし。 をがしがし。 をがしがし。 をがしが。 をがしが。 をがし。

本心ださら

幸促

日

事職等関連書きぬ電台味があるが の関係に巻きつく大蛇、総られ で端で虎の者もみが録音されてゐ で端で虎の者もみが録音されてゐ で端で虎の者もみが録音されてゐ

七月六日は

日活時代劇池田富保監督

外オールスターキャスト

州低

清荷

清

長

蛇き鱈の水中の喧嘩、小象を追

た清水次郎長が意地で張、劍で力 三歳の童見にまでその名か護はれ 任俠一世を覆ふ男の中の男さして

この一代の活記録

本の王者」の如きストオリがな は「ターザン」や「密 での映画は「ターザン」や「密 を吹嘘さいである

郎壽寛良「ノ

長 の大競演
阪妻と寛壽郎 四全料下階

謝恩特別大興行

前週連日滿員!

五

話を横へ

取、お産を、、 がはおいらの女房だ。緑瀬の郷五

の記録映画

七月五日は…

日活時代劇辻吉耶監督

酒河 井部

米五

子郎共演

「おしか、お前、そんな心様であた。鑑は呆線にさられてゐたが、

「其の噂は本驚からら」れてるんださいふ事な聞いたが」

通すつもりなんだかられ、

い、私はごんな事が

前さん私の差闘通りになるかい」「あるこも、何にもいはずに、お

「あるさも

いふ事も考へておかなけ

おしかは相當の意氣込みを見せ

せん、 難ですが、衛生試験所の試験の結果南京虫は抵抗力の中々强い虫で、 イマツ蠅取粉を充分に しかも畳 南京虫退治 南京虫は こうするに限る

「はいく、たんさ女房を憎まれて、おぎんさんをよこせさいふー」はで、おぎんさんをよこせさいふー」はで、おぎんさんをよこせさいふー」は

んに惚れてるの惚れてないのつて は私の恥さ、お前さんがおぎんさ は私の恥さ、お前さんがおぎんさ

を立て、も食はずに置かうさいふ思いて大親分になるのには、器用がいて大親分になるのには、器用

きぞへも食はずに置かうさいふ思えて、小梅さ五郎兵衛さの喧嘩のま

んな事をいふ等はれえ」

から好いわで、預り女房な、勝手郎く磔薬でゐながら、人の女房だ

。考へても御覧、あのたら

「何しろ、相手は無禁職の御天身

んで人の女房なんぞに未続を残す

なのめり

「なアに、

善鬼惡鬼

(126)

山蘆

江

も、一つの立場ちやないかしらし

=

P

>

號

有權登錄商標第二四四二一三號

隍

液體イマヅ芳香油を南京虫の巣窟へ撒布す 後南京虫の移殖並に發生を防止します 南京虫退治に最も簡單な方法はこうです。 **台疊の下に新聞紙を敷きその上にも疊、什器等を汚す憂は絶對にあ** 衛生試驗所の試驗の結果によるご 一たまりもなく即死します。 撒布して置くこ 驅除が困 n

治の効果が永續します。 是非御實行下

さい。退

さしる恐つ立逆毛の身總ち立粒栗に膚肌 異りぶさ揺をンーリクスは吼咆な味氣不 之!!すまみ包をタナアは怖恐ご慄戦な様 !!すで語物畵映獣猛い白面番一で界世は

• 即四重林小• 即二長 林• 榮久 上井•子敏 塚飯

笑微オ皆渡篇苦ー様の ヤミレブウョシ -キー田中絹代主演 2

電三六九五番 滿洲日報社廣告部 立寄らば大樹の蔭、燻らさば効果の猪印 こいに平利の樂土あり、安住の幸福あり 蚊軍、匪賊の跳躍せる滿蒙の夏を包容するこの一点! 三千萬民衆諸君 彗星の如く 突如として現はれ よいな 20

店理代洲衛

ことがいうないにはいることがある。 倉紗 中元大賣出し 豊富に取揃ひ居ります 答品… 速 ンローミ 町 ーロン卓上宣傳號 號畫型提手 大洋市信益川市場 希廷西 他 乞各 電話五四〇九番 店 五拾金 御 器型大・ンローミ 連轉手養成熟鄉軍師へ派遣確官 岐阜提灯大賣; 六月十五日ヨリ 腎臓病。王蜀黍毛 オヂラ・ンローミ 覽 流交球五式生再 滿蒙新天地に活躍せよ 大連市北大山通十四番地 日本橋薬局 蜀五拾五金 会合 社資

日後に迫つ

連商議役員改選

滿洲商議聯合會

市場電報

編集 (10年) (10

本月廿八日開催

三日正式招待狀發送

社のものまでも登記な行ふにあ ちざればこれなもつて第三者に 野抗するこさな許さず、その結 野抗するこさな許さず、その結 野抗するこさな許さず、その結

ごんな變革を見るか

期待外れの

味ご期待か持つてゐる

熟意の人を 選擧した

日英民間協議會

五三一十一月月月月 物 米 福 花 10仙四の 10仙四の

安高 (短期) 大 新東 新 (11250

大阪棉花 7 10720 110 7 110720 110 7 110720 110 8 8 6 0 110 8 8 6 0 110

克哥大 克哥哥引

成立確實ご觀測

莊國四郎氏談

大島甲槌氏談

本出ですして早くも會動法要者に を要い民衆は等しくこの世界經濟合 のであつた、総大の希望をつないだ あ出ですして早くも會動法要者に が、と、他、他、自己の世界經濟合 を表していた。 が、と、他、他、自己の世界經濟合 を表していた。 が、と、他、自己の世界經濟合 を表していた。 は等しくこの世界經濟合 を表していた。 は等しくこの世界經濟合 を表していた。 は等しくこの世界經濟合 を表していた。 は等していた。 はずしていた。 はずした。 はずした。 はずしていた。 はずした。 はずした。

はの末六月二十三日 の如きコムミユニケを養表した事とた、これに驚いた諸長マクドナ れた気めである、これは二十二日を決撃せしむるが如き危機を取出 政府の反對に遭つて慎死せしめら

てるないさいふ歌明な出してゐる云々さ級眼して命間が危寒に陥っ

國際經濟會議出

というは、イタリー首席会 三日一時時國し、イタリー首席会

關稅休日案申合程度か

を「無」の要定問題が突如米本國 で「無」の要定問題が突如米本國 で「無」の要定問題が突如米本國

殿な響にも、賑々もくが

何もろ世界不安の救港さいふ素

豫期を裏切つた

新西蘭で

朝鮮郵船が

北鮮に急行線

でするこことなった、しかして第一する模様であると云はれてゐる
 「大くり」を表示して、なった、しかして第一寸る模様であると云はれてゐる
 「大くり」を表示して、なった、「は、一般として参し丸が來る七月十八年終報総合はでは大阪階級の大阪 一般として参し丸が來る七月十八年終報総総合はでは大阪階級の大阪 一般として参し丸が來る七月十八年終報総総合は「大阪階級の大阪 一般として参し丸が來る七月十八年

第一船に釜山丸配船

を上げた講じ得る國は来だよいと とて、これかなし得ない國、例へ が男本の如く輸入總額の飛ご は我が日本の如く輸入總額の飛ご

家の申台せ位を唯一のお土産さす

を事になる。 を事に深ちつくものこりであら、 ないであらう。 ないであらう。 を事に深ちつくものこりであら、 を事に深ちつくものこりであら、 を表にいであらう。 は国際通商に深らであるが何れも、 を表している。 は正式参加してある。 でしている。 は正式参加してある。 でしている。 では正式参加してある。 では、よって自園を変しのである。 でしている。 では、よって自園を変しなであるが、 でしている。 では、よって自園を変しまで、 では、よって自園を変しまで、 でしている。 では、よって自園を変しまで、 でしている。 でしている。 でしている。 では、よって自園を変し、 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 では、よって自園を変し、 でしている。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 で 雨の急減を示して一萬七千期と一千 大阪織

減組情

等の交 標 同一割五分 従 量一割 五分 を依頼して来た を依頼して来た を依頼して来た をでして来た 果ないいない。 ないいないがいの米支管域に成功した来れが側の米支管域に成功した来では、 一大文等がは標準や前乳等戦日一 でいふ意識からでもあるらしく 等々昨今大連の講職等が試験的に に日本艦で特産域や前乳等戦日一 に日本艦で特産域や近乳等戦日一 に日本艦で特産域を送ったが網

況

大豆軟調

育朝の定期は大豆は南支筋の利喰 で軟調を辿り豆粕は不申、豆油 は南支筋質に強調を示る高繁は関

● 中 出來高 一車 出來高 一車 出來高 百六十車 出來高 百六十車 出來高 百六十車 出來高 百六十車 出來高 百二二〇五二四〇五二一〇五二四〇五二一〇五十章 出來高 百四十車 出來高 五千箱 二四九五 四九五 一四九五 日本 高 至 二二三〇 二十二二〇 五十四九五 日本 高 五千箱 二四九五 一四九五 日本 高 至 二二三〇 日本 高 三千枚

三步日

大豆二二車 建設 一七 各地特產發送高

醫學博士 澁谷創榮 西公園町春日小学校 肺門滿巴腺炎及费高不良呼吸器及消化器慢性病 腎臓・血壓及婦人内科肺尖・肋膜及慢性諸病 X線完備 入院隨時

五 七

大田は近くでは、 一大田は近くでは、 一大田は、 一大田は、

今中夏氏談

昭和製鋼所

販賣石炭協議

悪概され来り、世紀を対する。

^

爲替市場强調

及協養會主催の択役象ある筈
たは一大百年前中滿線又は關東
の

米國

のイ

ンフレ

ト落重視さる

但生糸小麥の取引に無影響

たて、懇親哲午後六時より湖月 会二十八日午前十時より正午まで 会二十八日午前十時より正午まで協議 で、午餐會正午ヤマトホテルに で、午餐會正午ヤマトホテルに で、年間は調査の日程左の如し

東京株式

綿糸小安

一日までに織切る密は世界及出職

役員で欲し

四日商事部連絡會議

1 出鱈るも値段待ち輸入取極めあり出鱈のは後とのであつた

か知れず重視されて居る

兩銀、支銀

から

激化せんさして居

これて居るが、英米 くかどうか電視されて居る 響だつたが、今後も此の事情が複いれてけられが下る 響だつたが、今後も此の事情が複いなけられるが、今後も此の事情が複いなけられるができるが、今後も此の事情が複いないである。然して

一 を称も自然昂騰な融を示し終十段 沈も一方には在車高の減少に伴ひたの高値を唱へたので、當地の市 社 州炭坑倉社の設立について其際施 を決定する気め事物的打合せを行 を決定する気め事物的打合せを行 を決定する気め事物的打合せを行

契稅免除方請願

四日役員會を開催決議

華蘭銀行の紙幣要 月前より國民政府 上海外

同同從從 價一七五分 割五分 三十五分

無中して國家銀行機な野町の 一般のは七月一日より

渡邊店長赴阪

八五八元八 八五八元八 八五八元八 八五二元元 八五二元元 八五二元元 八五二元元

株

尤

爲替

相場

新文 (1個) 一志三片四分三 (14年) (10年) (10年)

の戦略な強いに生

大阪融艦大連支店長渡邊東吉氏は大阪融艦大連支店より直接着低したので、本社さの製砂排合せのため、五日出戦のハルビン丸で大阪

本品關稅引上說擡頭

民政部 訓示第一〇九號財政 從つてこの見解によるごきは本

構決護謨製造會型 N 南 ◆…昨冬来低落 (で)の物質も 逐うて昂騰 歩調に 転じた

與新 鈔 豆柄◆ 前 司家司寄司寄记• 當 限 先 先 三三 二〇〇 二二先 〇〇〇 八九九 | 五五 八七七 九五五 | 〇〇限

♣特 豆

石界 の 関祖 理

電話九九三。掛電話九九三。掛

記さる

天 九九、五〇

夏 型 大連市互場地区雲井町五 理

奥地

相

場

鈔

間助太心一端映の比無快痛

廖

助太心 時代 温映の比無快痛 劇

四演主大ねかあ野久助之々百川市 音會大意蛇毒

一面 即二十錢 商 國

下階

勝取千兩幟 事 秀人の維護 事 秀人の維護

舞踊公演 公演

舞踊、名書週間

映 型 東部門門

江戸城心中

臺車列甲裝衞前 物尺三の漢土門衛太右川市 迄 八番藏 新 の 津 興 額映 2000 演主 子京村鈴 上貌全の國洲滿興新 龍木の名 配的

版本目。 ざくや棠海よ

の林密≒

観的である

まだ脈がある

動搖尙止まぬ北支政權

馮玉祥の新地ポ

さぬやうになつたが借一部には 野の手頭に於て膨緩部隊長が「ソウエー酸」最近に至って 國域九十里 リー には 野に 大阪瀬部隊長が「ソウエー

は自己の機関紙を利用し日本軍が は自己の機関紙を利用し日本軍が は自己の機関紙を利用し日本軍が は自己の機関紙を利用し日本軍が

却て悪宣傳をなす

り傳ふるさころによればソウエートから一千萬ルーブルの情勢を締結したさ、「奉天電話」北支政権の構立に唐視眈々たる瑪浪群は糖菓を包容し耐次一大勢力を持ちつゝあ

對ソ借欵の成立説

嚴端を行く何應欽

依然洞ケ峠の韓復榘

譲渡價格にさへ

官吏服務規定

ー倍餘の開き

北鐵交渉の前途悲觀

「ペルリン三日餐園通」とツトラー球がは失業技術の見地から二重の情機就止その他に関する質公吏服が機定を公布した製量左の通り一、一切の官公吏は勤務時間外と難も正規以外の職に就く事を得ます。
、女子官公吏に対して他に扶養、

田外根より那人漁夫殺害事他の經

完全に意見

回訓着次第義勇軍問題協議

兩三日中會議終了

る答 日の内にあるものさ見られてゐる 整談を交し正午設會 田の内にあるものさ見られてゐる 整談を交し正午設會 田の内にあるものさ見られてゐる 整談を交し正午設會 田の内にあるものさ見られてゐる 整談を交し正午設會 田の内にあるものさ見られてゐる 整談を交し正午設會

について鑑識されたもの、如く何れも慰学館にかつ投験館に根幣館館な問題であり、かつ北平さの打合せの關係上決定を見ず五日に接、、戰時中北等。鐵路に費された經費の償還額

胸鐵道の聯絡問題

大連會議

鐵道專門委員會

全年まずは三十五歳に達した を始めて官公吏さなる事な得っ さ結婚せる者は闡後官公吏さな る事を得ず

技術關係事項を協議

(刊日)

引下決議

滿洲織物關稅

保着一同衆集

等であるが協会の資本金は約三百 なつた、尚この協議会に於て影後 能決定を見協会成立の運びさなる 萬圓であるご

四日臨時總會を開き滿洲織物開

氣乘りせぬ歐洲金古 部會開く 个位聯盟

作る仕事の餘地はないことで居るが整門家が技術能問題の影響を続けて行く事には異議はないらといを ま 宮に 鑑み、ル 大統領の聲明が全然 右議題と矛盾する事實に鑑み、ル 大統領の聲明が全然右議題と矛盾する事實を指摘しての幹部會で米國の態度で居る、一部代表は専門家準備委員會の註釋附議が通貨問題を真先に掲げ之れを重視して居る にコンドン四日發展通 十六ヶ国幹部会は本日階催される事さなつたが依頼が継續が經濟論等へ後の蘇耐を逃忘するものことで注目されてロンドン四日發展通 十六ヶ国幹部会は本日階催される事さなつたが依頼が継續が經濟論等へ後の蘇耐を逃忘するものことで注目され

共同宣言を發表 金本位ブ

ロッドン四日餐園部 金本位アロック書園の共同管部で変換くに致いて、自由なる機能を持せしむべき、意志の擁護を缺くべからざる事と確信し、各國の金本位をし本宣言署名國政府はその通貨維持が、世界の經濟的復興本宣言署名國政府はその通貨維持が、世界の經濟的復興、ロッドン四日餐園部 金本位アロック書園の共同管部で変換くに至って変換された。 るため 緊密な接觸を保つやう要志ある事を確信す、而して諸國して現在の平價で 又現在の通貨與、信用の回復及び 社會的進步

ベルギー、

もので今回日銀で行はれたも

オランダ、スイス

附くと」 時でできれてあり進さの間は完全に をでするまでは、主要が変されてあり、進手が変されてあり、進さ一様に動して中央系数。 をできれてあり、進さの間は完全に をできれてあり、進さの間は完全に をできれてあり、進さの間は完全に をである。 をできれてあり、は、一般最か力を をできれてあり、進さの間は完全に をできれてあり、進さの間は完全に をできれてあり、は、一般最か力を をできれてあり、は、一般な行い、と、をできれてあり、は、一般な行い、と、をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、は、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれてあり、と、一般な をできれている。 をできれてなな。 をできれている。 をできれてな。 をできれている。 をできれてな。 をできれている。 北軍系のため 一帯の天下

煙道博士乘出す

附くより返さ合同する傾向かり 支一帶の維色軍は全部職の麾下 なりついあれば中央政府の代表 なりついあれば中央政府の代表 なりついあれば中央政府の代表 なりついるれば中央政府の代表

は大多性を触り形態によりが、大型を関係したである。 「天津四日登画通」支那は東軍の に於て窓山銀路さ連絡であることに に於て窓山銀路さ連絡であることに に於て窓山銀路さ連絡であることに 一同総路管原と打合せ完了したので に於て窓山銀路さ連絡であることに 一同総路管原と打合せ完了したので を筆であるが、北線銀路の際山機 を筆であるが、北線銀路の際山に面を を響であるが、北線銀路の際山に面を を響であるが、北線銀路の際山に面を を響であるが、北線銀路の際山に面を を響であるが、北線銀路の際山に面を を響であるが、北線銀路の際山に面を を出迎へた参野機 が出迎へた参野機 が出迎へた参野機 であるが、北線銀路の際山で を出迎へた参野機 であるが、北線銀路の際山で を出迎へた参野機 であるが、北線銀路の際山で を出迎へた参野機 であるが、北線銀路の際山で を出迎へた参野機 であるである。 では極めて平穏、 では極めて平穏、 では極めて平穏、 では極めて平穏、 では極めて平穏、 では極めて平穏、 では極めて平穏、 では極めて平穏、 では極めて平穏、 なる、李巻間合

が 『天津四日 教園通』昨日午後唐山 が出迎へた李原春部 歌参歌是苗次 が出迎へた李原春部 歌参歌是苗次 の如く語った

四日から運轉

我駐屯軍の警備下に 民衆のため

苗參謀長談

(南京特電三日野) 張野良の北支 「南京特電三日野) 張野良の北支 「南京特電三日野) 張野良の北支 「東京特電三日野) 張野良の北支 の上今後の態度一切が では日本軍同機我軍は能力の便宜を闘るつもりである。 でのここを説の態度一切が でのここを説がしましてある。

を ・ 及びポーランド通像駅保の緊急化 ・ とはき無談しポーランド唯一の海 ・ とはき無談しポーランド唯一の海 ・ とは名字 ・ とはる。 粉管に來栖道歌扇長を訪問し日本理公使ヤチソフスキー氏は四日外 【東京四日發園通】ポーランド

領事館と商務官 增設具體案 外務省豫算に計上

地 洲、歐洲方蔵の都市に領事館及び 分館三十ケ所、蘭務官局じく三十 ケ所の概談計畫を確立し、東京経成 で所の概談計畫を確立し、東京経成

解説記事、

コット

新型・直数・寫典・地間・統 (報)・直数・寫典・地間・統 (表)

見送りませう 電氣通信令 喪の凱旋を 五日午前十時はるびん丸 下審査を終る 本會議上程は月末か

西山局長の 電信會社入り 本月末ごろ實現か

銀 とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とただか聞く所によるさ來る十五目前 で出し一時立常えの形さなつてる で問題されるものさ言はれてゐる 立に惟ふ事務打合せのため四日午 後四時年の残事で赴京したが九日 に各方面との財務局最齢低に關しては とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ とた際最後師の決定をするものさ が出て各別事で地京したが九日 を四時年の残事で地京したが九日 を四時年の残事で地京したが九日 を四時年の残事で地京したが九日 を四時年の残事で地京したが九日 を四時年の残事で地京したが九日 を四時年の列車で地京したが九日 を四時年の列車で地京したが九日 を四時年の列車で地京したが九日 を四時年の列車で地京したが九日 を四時年の列車で地京したが九日 を四時年の列車で地京したが九日 を一時ではないかさいは

臺乘せも目前

豫約全五冊 本の意味に於て余は一人のである。如めたいのである。如めたいのである。知らんとである。知らんとである。知らんとである。知らんといのである。知らんといのである。知らんといのである。如らんといのである。如られて、意味に於て余は一見に如かずである。が又かしたいのである。が又かしたいのである。が又かしたいのである。が又かしたいのである。如此が一般に対して、例のに対して、例のに対して、例のに対し、例のに対し、例のに対して、例のに対し、例の 第三配本 農業篇上 港蒙資源館長 子醇 士·岐 五〇餘頁(百餘種) 本全集は大満洲資源館!!

春のお化粧料は 全世界に誇る 全世界に誇る 高新洋行

大満洲全産業の厚は開かれた!!

姿のる事の利益が唱へられる。

其の質は専門的事業家に

いふ塩音をならたさ報でられ、從いふ塩音をならたされてきるであると、 では、水塩音をならたさ報でられ、從いふ塩音をならたとれ、後に では、水塩音をならたさ報であれ、從に では、水塩音をなられると では、水塩音をなられると では、水塩音をなられると では、水塩音をなられると では、水塩音をなられると では、水塩音をなられると

政権時代に或る程度の利権を得其の効力の有無は站く措き、審

新情景によってきる地域をない。

の北観資質交渉につ

我 マはもちろん、 電響と ない、だがこの極空として上程されんさしてる は外の第三國において種々膨胀を有しない、だがこの極の膨脹が日蘇州を である、 森に逸早くこの極の膨脹が日蘇州を である、 森に逸早くこの しない、だがこの極の膨脹が日蘇州を である、 森に逸早くこの しなが としてる ない、だがこの を である、 本に逸早くこの しなが とこさである、 本に逸早くこの しなが といったが ここと ない たび は の である、 これを 政治 しまり である、 これを 政治 しまり である、 これを 政治 しまり である、 これを 政治 しまり という は かっと いっと いっと は は いっと は

東における強化な智能してある。 大にフランス軍部の機能と はないから からのに外ならないから

店で数を盡して九時でぎ盛倉裡に店で数を盡して九時できなり、終つて別国の全紀」の映寫あり、終つて別国の全紀」の映寫あり、終つて別国級道部長一場の挨拶を述べ今後の援助を願い一同ルーフの模擬

第〇〇〇東京 新四〇〇八六 新四〇〇

界各國酒類

食

品

0

店

Joy of the Taste

P

荷

本各地名産

を さ日本の大陸におけるとは日本の外がでによって要職に集倒してゐるのであるが、そのであるが、そのであるが、そのであるが、そのであるが、そのであるが、そのでは日本の勢力圏内にあるでによって要職に集任に

浦

鹽

港

讓

問

題

この機會において日本政府と蘇聯に いても何等かの會話は突換され この機會において日本政府と蘇聯に は右の繼節には右の離節師に

る多数民族関家に戦化しついある多数民族関家に戦化しついあ

(E)

東 京

訑

者

の森林に着眼し、二千

日本の金融資本の巨頭が吉

た。又其の後滿洲の砂金に眼を

明

=

回

戦七回裏廻口三盗成る

踐段階に進んで來た。 此の時

なり、着々

こて何等かの新意

◆三回 賞業野原捕邪飛松木一疊 一旦 賞業野原捕邪飛松木一疊 一旦 賞業野原捕邪飛松木一疊 一旦 賞業野原捕邪飛松木一疊

33 2 9 1 2 3 2 2715 6

大)數點打打量振死殺殺失

計 3115135627172 ▲二壘打一河野▲併殺一實業3(中

一松井)明大1(鈴木一布谷一松井)

六月分對外門縣物質

題に比較するさ約五割増それに引し貨物の増加は奥地の殷盛を物證る九二九連で昨年同月八六、一三一、比較するさ遨滅の形である、輸入が、は、八五十二、八種昨年同月三四二、二五八題に続いたよると輸入貨物による大連港の六月中一き替く、輸出貨物は二八九、八六十輪出人貨物による大連港の六月中一き替く、輸出貨物は二八九、八六十

へしので特に越野用品その他想案が、
い一方輸出の方は歐洲南電話の凝った。
ないことものである。
ないことものである。
ないこともものである。
ないこともはいません。
ないこともはいません。
ないこともはいません。
ないこともはいません。
ないこともはいません。
ないこともはいません。
ないこともはいません。
ないこともないません。
ないません。
ないません。

(連港六月中旬統計

佐藤オースチ 『ウインンの試合經過 三日登園 第一、第二国セットを通じ佐郷 はオールラウンド・ストローク

▲ 井上正壽 長)四日

能然たるものがあるので、

と各企業個々の合流を最

郷ろ全面的の合

針を不可能さ 義の既成機構より見て

真情は十分に之か諒察せれば、

るべき合流統制をも運延せらむ

說

繋が看取される。吾人は日滿 制經濟の認識下に、幾度か資 程濟的結合な希望したので

に於て製紙事業が

らうが、これ等の統制は如何な でより大に期待し得るものがあ をより大に期待し得るものがあ 々計機を立てゝゐる。 及び共の擴大を意識 金融資本に統 である。

本家の態度が、統制事業の圏内 の問題となってゐるやうだ。 に於て特に進出の途を發見せん

化が此の原則を犯すが如き事實 のであるが、右の如き實際的進 を表するも 迎し、其の指導精神の明確なる 顕的に明示せる原則の公表を歓

人は滿洲國の經濟方針が、資本人は滿洲國の經濟方針が、資本 主義の弊害な除去することを先 的の統制事業に向って特に疏通 考慮すべき問題なしこせのやう ために資本家の自由企業を狭

る方法に依るか。既に當面緊喫 實業軍雪辱す

最終回の攻撃も遂に空しく

調さして日滿各個の準備的に

が、統制方針が相互の統制

を先決問題で爲し、その爲め

目然資本家の自由なる投資

で明大軍潰ゆ

が は四日午後四時三十五分より質素 一次時三十分 で記載三氏散性實業生攻で除始 たが2 新1で態素等をで除始 たたが2 新1で態素等をで除始 大時三十分 が時三十分 が時三十分 が第二氏散性質素生攻で除始 大時三十分 同に明大一點質業は二回に二點ふ側球のないこころを示して一

二島打に出ながら後續凡打に終 つたのは左投手のアウト・コーナーを持てあましたのが原因だ 而して漸く九回明大らしい攻撃 振りを示してや、緊張の度を加 へたこれまた凡退に終つた、實 業は二回に得た得點を固く守つ 業は二回に得た得點を固く守つ 業は二回に得た得點を固く守つ 業は二回に得た得點を固く守つ 業は二回に得た得點を固く守つ 業は一回に得た得點を固く守つ 業は一回に得た得點を固く守つ

死滿壘の機を迎へ大鹿の左邪

◆五囘 實業 (明大大鹿退き村上 本の二間は鈴木を二桑封殺山脇 や二桑に封殺し岩瀬三進したが や二桑に封殺し岩瀬三進したが を二桑に封殺し岩瀬三進したが を二桑に封殺し岩瀬三進したが

院長于冲滅氏の逝去後品川主計氏

た翼に入る)野原一飛松木二匍 野の遊偷に水澤三進したが岩本 野の遊偷に水澤三龍大・北澤二匍失に出尋吉田一匍▼明 玉井二匍失に出尋吉田一匍▼明

明實決勝

る六日午後四時三十分より實業期,明治大學對大連實業期,決勝殿は来

時四十分大連港外着の鎌定

場に於て舉行する

大中學校長〇同上
京中學校長〇同上

校講師) 同

出來高 五十車 出來高 五十車 出來高 五十車 出來高 五十車 温保(袋込五二一〇五二二〇 大豆)練物 大引

構浜護謨製送會製

月やくの御手営 常陸屋東舗

の御手當は……

二二二後場所

二二二二後 長 三二八 二 二 八 二 九 九

三三八五 三三八五 三三八五 三三八五



國 内以行十五 すらさは傷中 迎歡書投 ◆自分はある調査破事務に提事で 見職しこの非常時に際も一部の 酸が加な慣むご共にに動い事態の 動がしたりではいへその要園心の がある調査が事務にである。 調査の近濶意慢か費めざるを得に被事せし税務監局官吏諸君のに被事せし税務監局官吏諸君のに被事はし税務監局官吏諸君の

● はのすら見逃しつとある。 ・ はのずら見逃しつとなる。 ・ はのでは、 ・ はい、 ・ もして至急に調める。 ・ はい、 ・ もして変してもいる。 ・ はい、 ・ もして変した。 ・ はい、 ・ もした。 ・ はい、 ・

◆第

には驚くの外はない

光の仕入間保等な調とも使用人数に依りて

利益ない。 おるは気に あるは気に

新監察院長 羅振玉氏任命 ■ 調査なれば或は少数の不正確は ・ 数多き酸人を関ある人員にての

ス超額八○二二八の減少である た輸入二割四分五厘増加而とて た輸入二割四分五厘増加而とて が、之を前年上半期に比すれば輸出五割○分九増 が、一次で、五四四

北鮮の景氣は

大豆强含

素晴らし

土肥滿鐵人事課長談

展るから敢て當局者の一考を煩便を市内各常設館に於て感じて便を市内各常設館に於て感じて

映畵館の古

を臨時院長さして任命その事務に で長の職を解き新たに編版玉氏を 正式に監察院長さして任命した 因みに離氏は浙江省出身一八六 五年生れの清朝の遺旨で支那に 五年生れの清朝の遺旨で支那に が清洲國の東斗さして名あ り清洲國の東外でして名の いた。

後より選球に努め四球 で消費さなつたが河野 では、

東倉舗に列席の後妻 土肥滿鑛人事課長は 叙從七位(各通) 同

即氏は今朝小林取引所長の案内に

▲西山左內氏(關東廳財務局長)四 日午後四時中養列車で新京へ 中村孝次郎氏(同ध部)同上 ▲肝貞一氏(同ध部)同上 ▲肝上乙彥氏(陸軍少將)同上 ◆現物後場《銀建》

當市强保合 為替反落 鈔

◆定期後場〈單位錢〉 ◆定期後場〈單位錢〉 新近 10時10 10万至 10時10 10所2 即近 10時10 10万至 10時10 10所2 日來高 期近九十五萬圓 ◆現物後場〈單位錢〉 銀對金 銀對洋 金對洋 一時半 10時2 15頁20 11元空 11時10 11元空 11時10 11元空 11時10 11元空 11時10 11元空

綿糸弱保合 米四分一安さ反落に 品 全村

大阪三品後趨弱保合を入れ當市は 銀栗薄陽散、麻袋廳らず 銘柄 約定期 値 段 梱敷 相敷 上月限二〇〇八 一〇 田 土月限二〇〇八 一〇 ? 否\换 高商市清楚水 ABUS和澳大 公司至14名

げさねの米白 文文策飛行式にお属けいたします ソ ビール アッ 蝿取液 マルマッ 蝿取液 サッポロピール 総松樹 すし 米

麻袋變らず

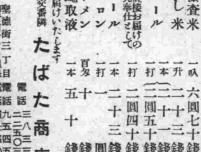


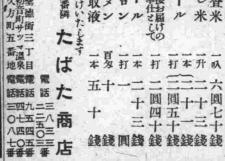




滿洲特約店







久初音町サッマ 番 地東 本 選泉 電電電 電 開発を施設的

は愛物です。それにはがい間響験を得みを繰から信用を載いて居ります本職ので、上記の耐光生が御部明に なった響楽を、おするめいたします。これは服み易い鉱物で、安心して用ふることが出来ます。 高型、松山、閉所、京瓜、上地、シカゴ 豊野、松山、閉所、京瓜、上地、シカゴ 豊野、松山、閉所、京瓜、上地、シカゴ

会組業同題素州播 町野龍雪庫

生前十時者の飛行機で勝来したが ・ 大瀬に向った総谷總領事に四日 ・ 大瀬に向った総谷總領事に四日 ・ 大瀬に向った総谷總領事に四日 ・ 大瀬に向った総谷總領事に四日 ・ 大瀬に向った総谷總領事に四日

熱河の治安

完全に維持

語件

當市强 市 況

一大の変れた神經を愛慰するにど、 、 代人の変れた神經を愛慰するにど、 、 代人の変れた神經を愛慰するにど、 なころでキャンヒングが今日のご は、れだけ後立つてゐるここでです。 は、れだけ後立つてゐるここでです。 は、たころでキャンヒングが今日のご なころでキャンヒングが今日のご なころできないでは多いの変形ですが、これに なころできないでは多いの変形ですが、これに なころできないでは多いの変形ですが、これに なころできないでは多いのですが、これに なころできないでは多いのですが、これに ないては次のやうな たが、これから始めやうさいふ人

雅も枕子もさいつた具合にまでな以来年々盛んになって、最近では

意一など野和くさいから知れませったって、今更「キャンピングが今日のごったって、今更「キャンピングの注。

跡を残さぬがキャンパーの誇り

くないここ (樹木のごもつてあるころには温氣が多いから誰なですが、最後に特に大切な様件ですが、最後に特に大切なのは対のながらないころであるここ、対しない。

を大きて続きいここではないから、 を大きて続きいここではないから、 でも直ぐわかります、要するに

ひましたら帰着性子宮後屈起さ

で一度も親子の排泄を感じたこでは二日あるなしですし、今ま

出来ません、手術もか

充分のため從つて子

本人には排脱痛か他の

親元を

17747

クカ

るやうなこさはありません。

のなど相當あつたので、

美味しく

頂くには

日

分でも縁ふべく、本社並に滿日婦とおりに身命を賭して心臓の影闘を

キシヤ

なの事が信息の中なごに、、 大する穴を見つけましたら、 大する穴を見つけましたら、 を重要が覚しい)詰め込むか も古葉が覚しい)詰め込むか する程音い草がから出入す するこ二度と其處から出入す

鼠の穴を防ぐ法

を保存するこさの出来ないバナナ 本この頃の酷暑には到底がい日時 ふこの頃の酷暑には到底がい日時

い程汚れが落ちて、 程行れが落ちて、簡素ものなしますさ気

か終る等です、しかるに真心こめ ですから暦三日中には全部の搬入 ですから暦三日中には全部の搬入

卵の殼とビール

のものを洗液する時、洗ひ湯のものを洗液する時、洗び湯がする時、洗び湯がする時、洗び湯がする時、洗び湯がする時、洗び湯ができるま、板にかけてなりはてそのま、板にかけてなりで洗ふさ驚く程



大半の發送を終る この素晴しい成績の陸に涙ぐまし 士への慰問袋

滿日婦人團の活躍

ることになり、去る六月十一日登表しましたさころ各方面のこの企製り日を逐うて聴聞金配数々本社に集まって、織切りの同月末にはに集まって、織切りの同月末にはに集まって、織切りの同月末にはに乗まって、織切りの同月末にはに乗まって、織切りの同月末にはに乗まって、機切りの最大を記えること三百なが、に達し、既に大連部兵分隊は、「一大道学・ほし、「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」では、「一大道学・「一大道学・」」では、「一大道学・「一大道学・「一大道学・「一大道学・」」では、「一大道学・「一大道 一般有志より豪勢す (八百六十足) 本語子(八百五十本) 本便箋(平册) 本歴 (六百五十本) 本便箋(平册) 本歴紙(十三メ)封筒(千束) 本煙草(六百五十本) 計筒(千束) 本煙草(六百九十五本) 本機膜(五十枚) 本仁丹(五百袋) 本 世一ス(二百四十本) 本で一ス(二十枚) かり (二百四十本) 本で一ス(二十枚) また。

の中、焼けつく繋で炭素の中を泡 の美果を吸めたもので、この

の中、焼けつく様な炭熱の中を汗 でましい活動がありました。即ち でましい活動がありました。即ち でましい活動がありました。即ち でましい活動がありました。即ち の中、焼けつく様な炭熱の中を汗 大連婦人際惨聴合会では兵士ホートの保事業等の費用の一部に充った。 る感謝の聲を浴せられてゐます行動に對しては各方面から非常な 中元を機會に 事業費を得べく日用品販賣 大連婦人團體聯合會が

これではほんの僅かの収益でなか これではほんの僅かの収益でなか

大つて来まず、機から離れさうに、 然し切つたものをちざつて直ぐ食い でられる産地であれば人工酸にいる ろくへ加工するよりそのま、何も かけないで減か方が天然の風味を ないうちにちざつたものへこち ちのは全部それですンは多少手を 加へた方が素味しく頂けるやうで す、ここに熱帯の果物は大ていー

DE

斯んなに

調理する

ご味はひを持つて

たもの、方が香や味が鼻につかな 子供がほし なんごかして

世歌の人悲ですが經鑑以來一度 も嫉妒いたもません、生來騙々 も嫉嫌いたもません、生來騙々 しい驚賞のやうですが別に大し た網練も致しません、月經は十 た際に初潮を見てからずつさ順

高います。 一面はおり四六三四番 でイフンと町電停前 大連シナノ町ニー

が更に自覚的に異

の働き不充分 不姙の原因

る四月後居の手術を が別に以前さ何の變 が別に以前さ何の變 が別に以前さ何の變

等で民政器三階の同僚事が所で提 等で民政器三階の同僚事が所で提 能話四九八三番へ申込めば同會か 能談をよけるさうです(寫真は が製造とはある。 の記文は のた選び皮を剝いて薄切りにも まこた。 まこた。 小林さんにその調理法をうかがひかったがいる。

ませんので少数の会員だけでなく 多数一般市民の摩急に燃へたいさ 多数一般市民の摩急に燃へたいさ を続き等は機動量で極力知友間 に電がいてぬます、現在城合會で 取扱つてゐる品は かな便第の手状(十銭)ふきん ・野村昌氏筆の手状(十銭)ふきん

された火の方に向ければなりません、必ず 足を火の方に向ければなりません、必ず

だけ飲まないやうになければ

オヤンブ 中には懸冷えも

ん、二、三人で一緒に行つた場合

。財閥青年當主 機田勝賀社共、第月路店主、山一證券市川取締三氏の 本株界・支人見た・インフ

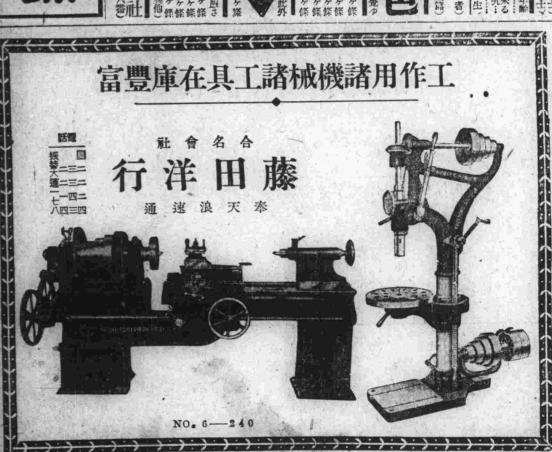
方複

店 大連市沙河口豪山町

製品(鐵橋鐵桁、鐵骨家屋豆油容器、矮爐類 椅 子







り三日歸経し

は是尊不塔なものは<u>殿</u>町處分する 気で質つてゐるものあり黎天甕で 以進ならかも日本殿店において平

車内に現る

金一千圓

チャツカリした男

記念射擊會

庵谷會頭の視察談

た意氣

の發展

【奉天】當地における赤痢はその | 株野大倉を繋行した此の日風なく | 後経々撮影し三日までに既に百冊 | 変なく悪まれた射戦日和であつた | 名婆生してゐるので終天警衞生保 | 松野を驚い髪加するもの一百〇七 | 松野 | では之が防疫に腐心してゐるが 名成織像以入質者左の如し | 一等別射手現役兵 | 一等三三點 | 東崎特務申長しい | 中射手教育を受けたる者 | 中間では、 | 本に、 |

警備力充實と治安確保さるれば とたが監分の間日清協力とて慰 の整備にあたる思さなつてゐる の整備にあたる思さなつてゐる

したルンペン選 大年間

そへたらし、 を本満洲軍の師願長に推薦して を本満洲軍の師願長に推薦して を本満洲軍の師願長に推薦して を本満洲軍の師願長に推薦して を本満洲軍の師願長に推薦して を本満洲軍の師願長に推薦して

領事館巡査自殺す

鄭家屯の不祥事件詳報

次表が知るここが出来たの語る所により初めて大佐の遺

さ遠書し続丸二菱咽喉より頭につる はっぱい

響: 動味、熱糖性、 ・ 大寒に動物である。 なほれば七月 ・ 大寒に動物である。 なほれば出れば ・ 大寒に動かであった部長に早進り で 名は後低さらて軽山署より水野に ・ 大寒に動かった。 なほれば ・ 大寒に動かった。 なほれば ・ 大寒に動かった。 ない ・ 大きに動えて ・ ない、 ・ ない、

新薬や新發見の療法 だまされな でするれな

簡単に傳へ自分の宿舎に贈り施

挑賊怖 え上る

多くの匪賊の招撫に成功した

地委茶話會

感心なお婆さん

熱心な軍隊の送迎に

兵隊さん達も感激

【関原】 間原地方委員會は七月三 日午後一時地方事務所會議室で茶 新會を開催し昭和九年度の公會議 類標第につき小川所長外監事者さ

「春天」雨の日でも風の日でも兵 かある、心をこめたいろいるな贈がある、心をこめたいろいが来天瞬の がある、心をこめたいろいろな贈

五側で線巣帳五册の管理があった

開原の

東京 は 見ると 経際の ものやゴミの 様な して 経では 無効なものである。 素人で れてはならぬ。 一番注意すべきは して 経際の 検査を して 光で 関連 知るには、小便を ロップに採つて 水戸 して 光で である。 素人で 林戸 の歌れる 薬を 展出 せねばならぬ。 この 家や 博士に掛って 薬を 服んだり 注 選するのである。 故に 東京を から この 家や 博士に掛って 薬を 服んだり 注 選するのである。 ない ままり、 この 家や 博士に掛って 薬を 服んだり 注 選するのである。 ない ままり、 この 家や 博士に掛って 薬を 服んだり 注 選するのである。 とれが 本書 は 一番 と 大 も まり、 この 家 や 博士に掛って 薬を 服んだり 注 選するのである。

一六歳の少年

詐欺を働

遂に奉天署に捕はる

類局に一切を引

馬車に

で取締る

一ル等多駅に飲み十二時頃、一同外。
たので面に先づ一丸を浴びせた参
は、上條巡査の空にて運転手
では「ことを置け、一下では、上條巡査の空にて運転手
ので面に先づ一丸を浴びせた参
は、上條巡査の空にて運転手
ので面に先づ一丸を浴びせた参
は、上條巡査の空にて運転手
ので面に先づ一丸を浴びせた参
は、一下をの時で強よりを強い合と空肢
ので面に先づ一丸を浴びせた参
は、一下をの時では、ことをは
のが様、上條巡査の空にて運転手
に、「中間」を響め内から何頼な
本市駅(こ)空丁龍(ご)は七月一日
に、「中間」を響め内から何頼な
本市駅(こ)空丁龍(ご)は七月一日
に、「中間」を響め内から何頼な
本で後型・中で取ることをは
のが様、上條巡査の空にて運転手
これを認めを響め内から何頼な
本では、上條巡査の空にて運転手
これを認めを響め内から何頼な
本では、上條巡査の空にて運転手
これを認めを響め内から何頼な
本では、上條巡査の空にて運転手
これを認めを響め内から何頼な
本では、上條巡査の空にて運転手
これを認めを響め内から何頼な
本では、上條巡査の空にて運転手
これを認めることを告げ
で説向すると空であることを告げ
本では、上條巡査の空にて運転手
これを認めることを告げ
を記録していたが、其の間に
なるの際ささなった。其の間に
なるの際ささなった。其の間に
なるの際ささなった。其の間に
なるの際ささなった。其の間に
なるの際ささなった。其の間に 日倉職を開き最後的決定をなすべ、職場の教育情報に関する答申案に対する答申案に関する答申案に対するという。 兩校長赴連 店の金二十一圓三十錢の集

時輩化も出て行ったま、行方を降 取って約鐘は後から持つて來るさ では、大方を除る。 馬車輸送には國際

委員會發會式 鐵嶺治安維持 というでは、 を強要する者がよれましてもする。 職すので目下警

腐敗酒販賣

飲食物販賣店檢查

中間にある馬車頭が 中間にある馬車頭が 本でで、 なすので製々間壁な なすので製々間壁な なすので製々間壁な なすので製々間壁な か今回此の輸送の住 地 に支掘される電銀 に支掘される電銀、八分減に比、電行好景況に惠まれ たで之な馬車頭が 大の電影で供って で之な馬車頭が 大の電影で代って 一の間路が供って、 をはは本域二元七十 の電影で代って 一の間壁などの外型を から庭域、分減に比、電行好景況に惠まれ で之な馬車頭の手 の増額を示した で会は極々の象型を から庭域、発音に於て例年に比し約二割 では、 を対するを が出場して、 を が出場して、 を があるので燃料では、 ので燃料では、 のでは、 の

東京日本権逃二 一種 費 元 —

貸衣裳 文衣 裳 日陰町 三浦屋 有田ドラッグ 有田書松鑑製 の文字あるものを の文字あるものを 人

マママサに対察をつれている。

の為め滞在中四日午後 水交社に於て下田檢察 保田参謀長、米岡市長 保田参謀長、大塚分舎長、飯 経浦憲兵大尉、伴民政 松浦憲兵大尉、伴民政 松浦憲兵大尉、伴民政 松浦憲兵大尉、伴民政 松浦憲兵大尉、伴民政 松浦憲兵大尉、任民政 松浦憲兵大尉、任民政 松浦忠兵大尉、任民政 一石坪嘉市氏方では二 男正義君が出生 写正義君が出生

習字 速成

日露洋行「電ニニニニニー

小女 クリーム ハタクリーム イスクリーム

理話九二六六番 職心看護婦會出 事後三浦 著子 聖德街一丁目三四六 東德街一丁目三四六

看護婦派 家政婦派 遊 家政婦派遣

でも出

來る

電話 金融費買は何で云っても ・ 大連市龍田町百十五徳 盛 社 ・ 大連市龍田町百十五徳 盛 社 ・ 大連市龍田町百十五徳 盛 社 ・ 大連市龍田町百十五徳 盛 社 (就明書贈呈) 大連市播藝町二二一 土福原正義先生創製 牧田 **畜犬商**

は、短時日で淋

松室大佐の招撫談 都能したミニカな悪の金銀で経過 人組合事務所ビルは組合員の出資 になり組合員に出資申込希望を とになり組合員に出資申込希望を をになり組合員に出資申込希望を 奉天に立

| 年後十一時四十五分劉列車で新 る飛行機に機緩を求める為め遙か いふ事に心臓し即分薬の影響見に関東軍司令部への観告のため即 した、その時自川軍曹は後から來 の經つに從ひ呼破薬は益々大佐のでを天に無事歸者した標室大佐 に解彼等の後に願いて行くことに いれば する事が出來た、日本をで三日午後三時四十二分飛行 に危害を加へる様子もないので鬼 ゐたため大いに彼等を こを天電話」遺離者さも見えの元 其處で色々話をしてゐるうちに別 ゐた、大佐は幸ひ安那語に通じて

同僚四名を殺傷し

たた、その時自川軍曹は後から來の經つに從い配放警に経々大陸の が、大佐は自分が其處に居さへ たが、大佐は自分が其處に居さへ で際に分れ機勢二萬に上つてるれ でなかったがさ非常に残念がつて でいる事に心服と自分を減長に がでしまった。この胆城軍は四十 では、一次では、この胆城軍は四十 では、大佐の命令に對してされる。 では、たが大佐が暗る では、たが大佐が暗る

である、特殊の大家天が

事務所で黎天に駐屯する陽山、慶 は店舗同、二階は輪組事務所、貸 は店舗同、二階は輪組事務所、貸

一日中に

開き

支那 語《北平宣話》書道正則速 連鎖貨卵屬二路太元學群呂大乾 連鎖貨卵屬二路太元學群呂大乾 全家 住宅向アペート二階惠比 会1〇、三三能登町六八東野商店

伊勢町、福音洋行転三八一二番

产 小林左知

本書 一、昭和七年度の決算報告

「一、昭和七年度の海集機算費
一、昭和九年度の海集機算費
一、昭和九年度の海集機算費
一、電子、
一、工、
一、電子、
一、工、
一、電子、
一、電子、
一、電子、
一、電子、
一、

卅五萬圓を投じて

醫大傳染病棟新築

一日第八回評議員會

変に三十四人しか教容されない現在は三十四人しか教容されない

三、精神病棟堵築の件

地加さ共に之が新黎の必要に迫ら、地加さ共に之が新黎の必要に迫ら

未教育兵教練撫順郷軍分會

發會式舉行

鐵嶺軟式野

二日商務會辦事處で

日

の完成な期せんさしてゐる自傳班の內容充實すべく政

匪賊ご討伐隊

一次のでは、一次のでは、一次のでは、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 でいった。「村本村、大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は原地流 では、「大石橋」大石橋協和会は、「大石橋」大石橋協和会は、「大石橋」」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」」、「大石橋」、「大石橋(大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」、「大石橋」」、「大石橋」、「大石

討伐を開始

宣傳班の内容を充實

方面の匪賊

七

滿洲博開會期間

讀者優待割引券

であの作品を発生を表現である。 (この条件巻素階上階下五十銭)

券

まれ 臓が 優し う

後級 滿洲日報旅順支局

定保健上非常に有効だご確認され 重保健上非常に有効だご確認され

備本乙一

0

後援 滿洲日報旅順支局

旅順の來客歡迎策

全市民一丸どなつて

米遊者にあらゆる施設便宜供與

り状間要校を開始し鑑泉河原で歌ったとなりその施設を然いでは三日より向ふ十日間、他によってが正れに先立ち熊岳城小學校のよりをの施設を然いであるがこれに先立ち熊岳城小學校のでは三日よりのからは、他に本年は熊岳城温泉でも又々開始

材料一式

んさぢお

3

iencia

納凉相撲開催ご

泉場目がけて二十二丁の道を急い 強ふ事にしてぬるが元氣旺盛な見

金を騙つて捕る

就職に來て金に困り

観念を喜じせたが八チームの影響に入るさいふ大学戦で

鐵嶺代表

大きない。 、 大きない。 、 大きない。 大きな、 、 大きない。 、 大きな、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きな

社會事業大會

「無順」 簡地歌音婦人會は滿洲事士の弔慰智師等目奏ましき活動を 一つきもので今までは種々日用品の のきもので今までは種々日用品の できるが、何分事楽には金が できるが、何分事楽には金が 廻ったが楔玉藤井殿吉氏に軽しま 標玉不在の塔め成亦せすふど家に 標玉ではの塔め成亦せすなど家に

下に全端社会事業日満大会が開催され継続からは地方事務所社會主な機能正氏が出席するに決定した。

(皇港報商者業制限) **店商田竹** 社名 ○三町之樓市堺桁収入 八〇四長 播四三〇一 赤七七一

【本窯湖】スポーツの夏頭かに 滿鐵軍優勝

野球大會

鐵嶺の悪疫

別錄呈

朝日

大阪市北區中崎町

バター

何がいいですか 「他のビラ賞つたんだけどハミガキは けどハミガキは

事さも市内各派出所に石灰を分配。 の各家庭に石灰を無料で配給する の各家庭に石灰を無料で配給する 行最寄源出所にて分配な受けられられるにつき各家庭では容器を拠 豫防實施

勝戦及び優勝戦か七月二日盛大にされ市民の熱狂弾に愈々その准優され市民の熱狂弾に愈々その准優

新玉突台

被消息 度小卸作製 五六町村類區北市阪大物語 **店商野吉** 香加四五四北話電 雷纳番六五七六八阪大楼掘

お父さんの歯をごら

を使つてから クラヴハミガキ 大特價提供

ハミガキは ハミガキは いいにきまつ

を選に艦勝族を獲得した、スコア 多数を擦して終始他チームを膨低 のである。 六浦 銀 B A · 有志は近く更に倶樂部を組織すべ戻しを行ふさのこさであるが市中 株應募好況

株式薬集財限は七月四日までなる【独口】淅州電信電話株式會社の

質木メ新 易線リカ 高袋を新 大本

第〇隊菅原軍曹鮮人を救ふ

一同胞愛

涙ぐましい人情美談

【響口】野球第二回戦第二日目は

大町屋間偏南市阪大 店番井櫻全 全 四四二二南 話電 番五二一〇一阪大替掘 今ではむし歯が 一本もない 一本もない ではむし歯が

対なな大にします。 を使って を使って

これから

半エリ リ問屋

二日午後二時より流鐵グラウンド 東亞五にて水電野東亞の試合、水電十二 於て同四時四十分より監察装置協 於て同四時四十分より監察装置協 「一位領域の大学の大学の大学を表現る。 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位領域の大学を表現る。」 「一位の大学を表現る。」 「一位の大学を表現る。 「一位の大学を表現る 「一位の 「一位の大学を表現る 「一位の 「一位の 「一位の 「一位の 「一位の 「一位の 「一位の 「一位 「一位 「一位 「一位 「一 「一 「一位 「一 「一

新規・大網・大将 大規・大子 大人組・大子 大人組・大子 大人組・大子 勝本久七雨店電話編集一七八三

熊岳城」久しい間の統計から見

熊岳城小學校

「養婦」 施製造巻駅では石場理事 ・ は、日本書に於て理事会を探集し 申込敷あるものと見られてゐる にて織切間燃までにはなは根常の にて織切間燃までにはなは根常の 鐵嶺慈善團

元

三井物產株式

會

元

野かにしてくれ 赤オイオン
坊門君が



需要家のみに直賣 コースター ¥¥ 二五・〇〇

タイヤーはダンロップ特製品付

倫界の 革命車=メ ヤ 厶

軍話《龍萬縣 左〇六二番 電話《龍萬縣 左〇六二番

金金 紫紫湖,內營 (角狀)等一壹億壹千九百七拾五萬圓壹億壹千九百七拾五萬圓

病科 th X 設科科 讀病 数院

光外

No. 60 ¥ 60.00 3 治 文光光や衆 洋 商 堂堂堂店堂行 販 中ッ能山高石 田久原 洋商洋 店會堂行會行 上小午五次 田關本泰久枝 電 樂洋洋商洋 話商 話二三七四會

七會

賣元

六四

2 供 工 ラ 一回金御拂と同時に現品先渡 ツ V ア蓄音器

月 賦 提

が表現ではよく 御客庭ではよく 御客庭ではよく をを見むし雌子がデー お動にはむづかしい おりにはむづかしい ・ 或* 師* そしてその なる家から クラブハミガキが一番良いと言へる 話になれて來る 行ひました 質けるときくとも 積資 木 鞍 遼 大 營 旅 湖 山 陽 橋 口 順 營業種目 立本 出支所店 痔牲內

商商

確たこれが何より とこれが何より を変数する

布哇、桑港、ロスアンセ 「東」、カルカッタ、「二智」、 「東」、上海、香港、 「東」、上海、香港、 「東」、東京丸ノ 横濱

ンゼルス、シャートル、紐育、リオデジャネイロ倫敦、巴里、漢堡、ペルリン、アレキサンドリア、活質、カラチ、マニラ、スウラが、"スマラン、以、「廣米、牛政、季天、開原、新京、中暦渡、新嘉、天津、北、

許特賣專

明色美顏(煉)白粉 明色美顏固煉白粉 異、科學は實に想像以上の美を創り出しました!自粉に目を瞠りました。美の驚異そして科學の驚然來舶來品にのみ信賴された方々でさへ此新しい 白 白 色。肌 肌 色 色 各色 三十五錢

待優御家用愛

の的々大ても靡風を界品粧化に間の年一か僅來以賣發は粉白顏美色明 謝感く深し對に用愛御の方性女全な烈熱もにり餘。たしまりなご行賣

割引勸業債券金貳拾圓一枚宛

百

送り

御注

(但し賣出價格金拾圓償還金或拾圓の分)

を差上げます

2こんなに保ちのよい白○が従

尊賛特許の製造法による明〇

美顔白粉

米あつたでせうか?

こんなに〇

く白粉が從恋

米あつたてせうか?

ヂオセット 子セット 一台 一組

川旅行鞄 一個 百

国の薄紙の部分全体を圓く切取つて御利用下さい。 知の薄紙の部分全体を圓く切取つて御利用下さい。 (他の用紙でもかまひません) 粉白粉、水白粉 (明色美顔小) 無を除く―― 等ざれでもの外型を開き、その裏面へ記入して、開封(甘丸タまで三銭)にて国を開き、その裏面へ記入して、開封(甘丸タまで三銭)にて国を開き、その裏面へ記入して、開封(甘丸タまで三銭)にて

の上常鑑者を决定致します。正解者多數の際は、所轄警察署の御立會を乞ひ、最も公平に抽籤 はよくなります。但し一枚毎に答へを記入してお送り下さい。御一人で何枚お送り下さつても差支へありません。多い程常籤率 桃谷順天館懸賞係大阪市港區市岡元町五丁目

昭和八年九月三十日 昭和八年十月中旬(本紙上とて)

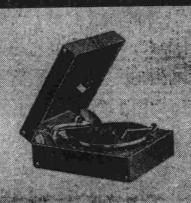
四等 明色美顏粉白粉(中)

屬宛 臺萬五千名

締切期日

富籤發表

七百名



ハ……平生お買ひつけの販賣店名

イ……問題中の○の所へはいる文字と、

及び

■……あなたの御住所と御氏名と御年齢

從來あつたでせらか?

こんな美しい白粉が……

明色美顏粉白粉。 白·肌·濃肌·淡黄 各色 四十五錢 各色 三十五錢 五十五錢

海拉爾に於ける蒙古兵の調

『殺死』の銃口向けらる、身が

特務機關長標室大佐は四日午後軍司命官に委綱報告の後新京記者職に點し続めて遭離以來の機職を次の如く語った職を納得せらめ部下九十餘名さ共に襲職に出て我が軍に接職せしめ、自らしが九死に一生を得、危地を脱した疫徳 【新京電話】去る五月廿二日某重要低務を帯び多倫に赴く途中遭難して以來良く確認な土匪を懐柔し窓に無條性難

興城の果樹園

滿鐵で積極的經營

九體の書

まさか小學校だは及ばわだらう

何か出來さうださいふ兎に



大風呂敷き

し又或能用?を得て脂肪へ出入し又或能用?を得て脂肪だのいふ復居に有り附く人もあるさうだが其壁態に 意楽さかあるさうだが其壁態に 意楽さかあるさうだが其壁態に 意楽さか

に市内天神町常安寺に向った、 信 経 ・ この銭士遺幣は同寺に悪ひ出の浦 の ・ お聞のはるびん丸で離連跏縫する ・ 出帆のはるびん丸で離連跏縫する ・ はの砂を繋が行はれる 醵金をこめた

午後四時三十分より二中球場で外に一角樂部―SPO俱樂部―SPO俱樂部―

法益社主田尻関太郎氏妻女ハマ市内丹後

御選び下

3

御贈答品は

質質本位の岩倉

0

品を

さあって學生

0

中元御贈答用品賣出

御便利な

岩倉の・・・共通商品券

波及するらしい、又女學生作問けでも質私大學生開家のものだけでも四つ五つあるさいふが設けでも四つ五つあるさいふが設 着の妖態を発れな。 には、これが玉石湖、 で、これが玉石湖、 で、これが玉石湖、

开掬水高伯力 書画 伯

會 越



クラア石鹼 旅行用一個 口上し

「エデの店」大

特

御注文次第直ちにお屆け致します

履物雨傘各種の 種高賣品級る 揃御店

福 履

金子小兒科橫

問週

店門専の品粧化 『店のデエ』 (出呼一九六一二話覽)八七通西連大

西痛にセロシン(聖路心)日本橋薬局

毎に福引進呈 ボ洋各コシカ 品景 三等ドミノ 喫茶券 一星。食料品 一六四 千百百 本本本 供提價廉。富豐品商 利便擇選。新一內店

夏の贈答好適品

選擧違反公判五十崎市議の

在、前回に引續き 大連地方法院長島 大連地方法院長島 大連地方法院長島

同七

一日までり

中澤以下に求刑

五十0

た場合から

なりというといってい

やえ

四八四三電

東京大島村和北京 弊店類似の名稱を冠せる金庫あり「大倉金庫」に御留意を乞ふ 部庫金店商村千蠶

もなる破局だ、新かる行動さ、新かる機能では不思義にも事の軽重なる行動で開かる行動で、新かる行動で、新かる行動で、新かる行動で、新かる行動で、新かる行動で、新かる行動での世野の一般ではない。 はればならか、然しながら子はなが現下の世界的不量氣の軽重なが現下の世界的不量氣の底に横端が現立された大なる。

回訓到着はあすの午前中か

日支代表けふは休養

問

提議に没頭するならある純粹に人為的な

決認に導くやうなことは

大館の腹梁は大なるべしで舞ら

人選が具體化せらむる事、戸籍法を制定する事、戸籍法を制定する事は基を制定し併せて、各種の登記法を制定し併せて、各種の登記法を制定し併せて、

▲大村百蔵氏(京城新聞社長) 同上 長)就任挨拶のため四日市内各

日蔵氏(京城新聞社長)

部及び朝野に

一、利民法は直ちに立法に着手で ・、利民法は直ちに立法に着手で ・、利民法は直ちに立法にご答制を を確立す

▲中村孝次郎氏〈関東鵬經理課長〉 就任挨拶の爲め四月市內各方面 原訪

四日午前八時着列車で來連速東

交渉行惱み豫想

い懸隔

唯立に寄典

皆川司法次官渡滿

連港外着の豫定四日午後六時大

洲國司法制度

明で一層明確に抱否を聞かされるく光望してしまつたが、野にアメリカの繁明が濛鬆碗な懸微な雕ばりの語句を用ひてゐるのは碗を不らない、ル大統領が現在の際において共同電話を受護出来ねさいつてゐる點になほ一趣の美々な繋いでゐた各國代表も、ハル長官の成せよとの立場。に對し、之に對する。非難を强調したものだけに、各方面を失望させたに過ロンドン三日委園通」ハル最前の繁明は常替疑定問題につき何等其態表を記され、金本位プロック諸國が爲替安定問題を発出している。

体會運動は表面化せん

は全人 曾 昇 木 鈴 人行養 治代喜本橋 人機綱 盛武 村 本 入剛印 地番一卅町園公東市連大 計報日洲滿 社會式株 所行養

提示された提案

御職の第二十五日



國務長官の聲明內容

ち逸脱してはならの(寫真はハれたものだ、會議はこの努力かれたものだ、會議はこの努力かの根本的疾患を抑止し、更に進

表は離脱國として行動 國が共同宣言

整的成果進捗の運動さなるべき微ツク議長が管被期待したやうに具

得るやう自國の立場を有利にしまた場合、各國共その實紙を製造地間による。 で食謡の深馨製定共同覚記案担否。 た場合、各國共その實紙を製験した。 た場合、各國共その實紙を製験した。 なった場合、各國共子の實紙を製験した。 た場合、各國共子の責紙を製験した。 た場合、各國共子の責紙を製験した。 た場合、各國共子の責紙を製験した。 た場合、各國共子の責紙を製験した。 た場合、各國共子の責紙を製造した。 た場合、各國共子の責紙を製造した。 を表現した。 を表現し。 を表現し。 を表現し。 を表現し。 を表現し。 を表現し。 を表現し。 を表現した。 を表現し。 を表現し。 を表現し。 を表 かってきながら逃げ腰週 の立場を有利にしよ

本位プロックの最後の希望を根柢はなった、而してこれを衝撃して下じた形否の一語は金 議を開いてこれを衝撃し進ら レー氏の進記を無視し、共同覚記して下した形象と、共同覚記して下したであり、

科委員會中三つの主要委

休會機運 愈々濃厚

を表情の映画に要素が表情を表情の議場である。 を表情の映画に関いている。 を表情の映画に関いている。 を表情の映画に関いている。 を表情の表情を表情がある。 を表情の表情がある。 を表情の表情がある。 を表情の表情がある。 を表情である。 を表情がある。 をまる。 をまる。

コムミユニケ けよ第四次會議

三日)静事に関する

の組織伝統においても時世の變

特別には、東京三日後國通」陸東省では、 「東京三日後國通」陸東省では、 「大学」では、 「大学、 「大学」では、 「大学」では、 「大学、 兩班を統制 陸軍新聞調查 北

できってすれ。それも、保験金が一家内されて、或る料理量に行ったは、大き、どのくらぬの金が一が、さう云はれ、ば致し方がなかった。それも、像社が今後復活するた一様なぞ、慰識にはよるでなかつたのない。 野遊にはよるでなかつた 王 虫 殺

店支連大堂春回

日支大連会議に三日の未会議によ 動してゐるが、その回識が未だ歌 日午前中は、鑑護問題は幽經、古 日午前中は、鑑護問題は幽經、古 政治的 今後の外交々渉に 問題は總て

殷同氏方針を語る

まで自家で休養をさつて一ゐる支那側首席代表股同氏を速車一ホテル四階に訪ふと語る はれた後、五日午後から第二回本 を はれた後、五日午後から第二回本 を はれた後、五日午後から第二回本 でいさしてゐる、原訓報をは五日 と はれた後、五日午後から第二回本

直通の鑑道薬性合語第二日目は四大連合議における素山、北郷列車 修問題の決定は避けて實際上のおける會議においては一切の政 一に開かれたが、大連に

細部に三り折 鐵道專門會議 新北寧(現泰山 前の食識はおさ 第二日

車輛分配問題第

「北平四日登園通」放火されて事際記して國資場場合と作べる事際記して國資場場合と合併する事

抗日會の

解散賛成

北平洋貨業決議

て数字的問題で

は昨日總倉本閣されて居る日貨 一、抗日舎の解散に饗成す 一、抗日舎の解散に饗成す 一、抗日舎に没収されて居る日貨 四、各商店にある日貨の販賣を自由にせよ 由にせよ 由にせよ しまる 日貨の販賣を自由にせよ しまる 日貨の販賣を自由にせよ しまる 日貨の販賣を自由にせよ 日ウ通商條約

交渉な進めつ、あったが全頭可見 日本間の追離にり係終繁な場所も内 様で日本側より係終繁な場所も内 では 八月正式調印

とてるたのだから世話あない。 「なかし 一味が悪化するさうな。 さいふ野街だれ。 した支那政局を宋子文

はすから、大問題だな」 「なかく人問題だな」 「なかく人問題だな」 「さうです。ですから、さう言ふ のですから、さう言ふ のですから、さう言ふ

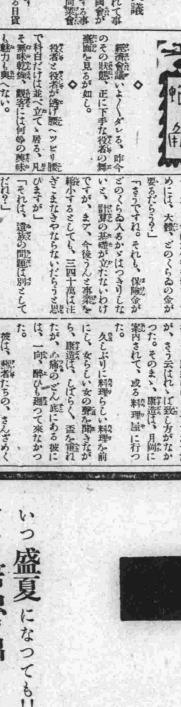
の睫える家では、彼の愛があんとするでは、彼のために働いてあた。 がい、あのなつからいさい遊の音が、海のも がい、なのなっからいさい遊の音が、海のも 矢のやうな鬱心を感じ

> ごんな害虫が出ても!! いつ盛夏になっても!! これさへあれ 舞各貨幣店に 有い

の変を思ひ出してゐた。 を放の無人の海撒にさかまく怒濤 を取るの無人の海撒にさかまく怒濤

なし」き米本園でアッサリ否認。 りませんよ。なにもろ、何百人さ「米代表部には財務協定の資格 さなれば、幾らあつても切りがあっても切りがある。

言ふ人間が、現に死んで居るので りませんよ。なにしろ、何百人さ



明け行く西部満洲國』

風

を代表し彩山鐵路からは適山底務係長が代表さして何れも製剤するとになつた 型を一点と影響を執行すること、なり奈天からは製野地方事務所長が溝鱗正副器髪と市民型を一点と野家の確保には近田、野灘の総に武脈を選した坂木部隊の障壁せる幾多の際語がら吹雪を衝いて蒙古の大噪原に消撃し赤峰の出脈次いて政徳一帯から熱河両部の反溝圏が外雪を置いて蒙古の大噪原に消撃し赤峰の出脈次いて政徳一帯から熱河両部の反溝

(投手)三宅、灰山、岸本、春日 (投手)三宅、灰山、岸本、春日 (投手)三宅、灰山、岸本、春日 (投手)三宅、灰山、岸本、春日

淺岡氏歡迎座談會

態である

パインズ、佐

特別列車

の使命帯び

天

りよ日五月七

総紹紹シ明薄 散染名セ石物 古ット上名 服帶帶紋布仙

予

坂本部隊勇士の

英靈を祀る

手の墓脂りか素行追憶試合をなし ・ 動合をなし診診頻鋭經由京城で 辱 ・ 動合を行び在撃中死去した原選 ・ 動合を行び在撃中死去した原選 ・ 本天、無順、新京 ン

佐藤二六七

大三九

連汽船株式會

九日錦州で 慰霊祭

し大田大便は外粉人民 が囀における郷人器 に飛聽し糞低者と罪及び被者造 との治療部によればカム との経験にするに、 に飛聴し糞低者と罪及び被者を に飛聴し糞低者と罪及び被者を というなない。 その結果無職な所は しした。 とのおりない。 というない。 といるない。 といるないる。 といるない。 と

蘇聯、我抗議を容認

今曉奉天で大膽な犯行

のお金六圓在中の蟇口な強勢逃走の一つた金六圓在中の蟇口な強が上げ慢中にあ

には早朝から屋上高く屋保施が標

米領事館で 記念日祝盃

新京の土地貸附

練習飛行

二名墜死

日滿飛行學校

滿鐵の新社宅街附近

の附願地に新築中である漸級社宅

南 後的のものである為め希望者終動での立見られてかりこれが防止策さての意見られてかりこれが防止策

は同校練習生二宮粽一つごとな同 卒無残の即死を遂げた 日本空輪館は飛行場の所在の日前 の上空から顕進鏡に同町遊職製田 日本空輪館は飛行場の所在の日前 の上空から顕進鏡に同町遊職製田

航空警察演習

第二回

女看守

長

慶大野球部來征

ができた。 はので金州の西海岸に新しく飛行 場を設け四日午前九時より砂原に 場を設け四日午前九時より砂原に 場を設け四日午前九時より砂原に 場を設け四日午前九時より砂原に の七名は顧る上皮織で核一

慶應野球部で

は夏期休暇を利用・腰本監督

時間の後無事終了した

の後に上り九州、南航各地に鞭戦のもさに十二日東京解費浦館遠征

する事さなつた、十五、六日

佐藤勝つ 【ウインブルドン を変更すし英國のデ林選手オースチ 京 ンを左のスコアーで破り昨年の雪 でを全のスコアーで破り昨年の雪

來る十八日門司出發

八二名を殺傷

院で際近される滿洲共産党事件 常任委員の額觸れは田村、唯妻土帝郷癌雄氏は今秋大連地方 つた 一般運動総牲者敦緩倉所屬の左翼 諸否に関する協議を行ふことと 入會問題に直面 辯護士會の形勢混沌 二人組拳銃强盗が

『東京四日愛國通』旅艇要港 (惟付けられた、聖上には破格が一、要に皇后陛下に採職の付けられ東京、要に皇后陛下に採職の の思烈を以て津田少粉のためまで、要に皇后陛下に採職を 食物付けられた 【寫眞は津田上奏、更に皇后陛下に採職を 食物付けられた 【寫眞は津田上奏、更に皇后陛下に採職を 全将」

武裝解除

北千島に於て

蘇聯汽船の

御陪食の光榮

ト学院四千戦級一隻百職級漁業に置ってるた響脈で番のソウエト呼が駐ボラセエセフ繋の繋脈作の対験が

東上した滿洲國の家理團一行

館の上本社の窓一上旬になる機様である

衣(昭和七年度)

○○に応び舊分同地唐山間の警のので○○○(は明朝天津曜

の各宗教順機其の他の視察のため一日午前八時三十分東京聯着入派の宗教順「家理」こ云ふ関性の各地代表一行十餘名が皇道日本派の宗教順「家理」こ云ふ関性の各地代表一行十餘名が皇道日本派の教験に対している。

店

貝を脅迫强奪

新京に三葉地

今週より毎水曜日

午後五時より七時半迄とし來る五日の水曜日より 質施致しますから相變らず御引立を願います

星ヶ浦ヤ

マト

ホテ

院ティーダンス 會期日變更

貸計 方 之

期期 計期期 繰利利 利繰受 越益益。益越 金金金 金金金金

100、000、000。00

永樂街質屋に朝强盗

オ庖丁で



て撲りつけ手提金庫の中から小洋」 れ帳場際製造であが

本分ごろ市内水樂。二十四圓八十銭を強称し続りがけ、 南ここ李成森方で に「戸を締めてをけい窓ろしいぞ」で 「一戸を開けて擺除 けるこ後の柴りが恐ろしいぞ」で に来たこいつて読 より所轄小賦子署では非常線を扱い に来たこいつて読 より所轄小賦子署では非常線を扱い に変きつけ「金 値に要破した、機鞭に の が應接中突如臘 り 一般一次の 一次 一次 では 一 さなつてゐる

世流所が終まることにならう、尚に 現在の料理店は最新時代その鑑に市内に 大事が、きものは相響を選挙では地方事 が、できるのは相響を選挙では地方事 が、できるのは相響を選挙されるので も後 職客を製けれ移戦の途を辿るもめることになり一流所は自然そ れてゐる

取締役社長 伍堂 卓雄

動・人・東連のです。

M、D對抗野球ダンス第二回戦

於大檢ホール球場---プレー正九時

分頃機関部に放験を生ご約三百米無不行場上空飛行中午後六時十一様総飛行場上空飛行中午後六時十一様に 大倉土木關係の市内大江町八番地戦闘総敷設工事に従業中であつた 武器を寄附 紅槍會匪 0

卅餘種類の工業家に

土地を貸付ける

兵統一級と総い廃のついた権四本 役所を訪問、市立貨業學校の教 圖線灰漢減附近で紅椎會則の襲撃を持ち込んだ右は昨年十月ごろ敦

歌したが、一種類の をしたが、一種類の でしたが、一種類の

工業の歌舞を完まれている。

果、三十餘種類當局においても

育社に 素社に 素大市

を受けた際分捕ったものであるさ 運轉手を檢束

大分線生れ間水子居住自動車運輸工作が大分線生れ間水子居住自動車運輸工度人を高雪でが大型音が安眠妨害が大型音が安眠妨害だが大型音が安眠妨害だってかく 明、派出所へ連行されてからしい。 第行政の非を攻撃し不穩の記録を を対し、派出所へ連行されてからしい。 第一次の非を攻撃し不穩の記録を

で表情では を表情では を表情である。 を表情では を表情である。 を表情でな。 をまる。 を

料理共和

居ます 滿藝妓歡待 御希望に依り日 味に全力を捧げ

電一式の転

容室全部改造、 料理人を雇入、調 半五り帯場、洋中日午八八八次

武田藥院

I

業種目を嚴選

▲本格的、正眞盆踊り近日學行

整作業服とズボンボ線厚司 *

綾部西

憲出

小自物類級學是一切 大連浪速町磐城町角、電三四三五 枯

其他即贈答用として格好の品豊富・

| 図画の希望者は七月九日迄に履歴書を當事務局に| 図前回の試験に出頭せざりし者にして且採用で、提出のこと 高基長大 雄隆着着 養 一三長二〇崎 二六基五五隆 八五個

博覽會

滿博記念の爲め 全商品特別奉仕品の爲め二田中屋獨 獨特の大賣出し



を担当している。 を対して、 をが、 を対して、 をがし、 をがし、 をがして、 をがし、 をがし、 をがして、 をがし

情報處の撮影班歸る

亞細亞の秘境撮影

無事居山に頸着したが北線を発見しい野帯に途中破壊側所を修理後一

でも持つてかれる分にや、ごうにでがいさも、元々、五郎兵衛さんえで好いのかい」 おい籤さん、仕方がれ ローこが考べごろだ」

瀧の白糸」

(日曜水)

「死に無、お前さんさ私が一致して仕事なしなけあ、何しろ、相手でしなける。何しろ、相手

旅順公開

を映りで大連公職を終り五、六國 を七時から經驗解和限にて本社総 を七時から經驗解和限にて本社総 で七時から經驗解和限にて本社総 を一般、本紙各地既制込み像徐宛 夜限りで大連公院を終り五、大麻の自然」は大好評判に今 五、六日兩夜

博した巨豪編。 博した巨豪編。 博した巨豪編。 東京して封切宮時嵐の如き絶談な 入江たか子共演

映樂館

香 滿洲日報社廣告

こゝに平河の樂土あり、安住の幸福あり

立寄らば大樹の蔭、燻らさば効果の猪印

三千萬民衆諸

30

店理代洲满

蚊軍、匪賊の跳躍せる滿蒙の夏を包容するこの一燻!

彗星の如く

が能で賣れる

九二七南電・三七九阪替振

五日一日限り 郎壽寛日 天眼通黃金時代

H

を精の懸金は何と云っても最後の 底さ大螺さの大格師で終一巻近く に亘つて物様く入念に掛つてある 底の胴體に巻きつく大螺、級られ で喘ぐ底の苦しみが録音されてゐる

七月六日は

闘等無趣器を加面自味があるが

さの一代の活記録―

幸校

の大競演を寛壽郎

王攘夷大 た清水灰郎長が意地さ張、劍さ力 大河内傳次郎主演 郎長

五 月 七 年 1 沙州 满药 B こうします。考へても御覧、あの「れえつたつて、もし、あつたら ふ事を聞いたがし て、話を様へ 仕方がれ つても、おぎんさんの真體は引きや薄むまい、私はざんな事が 「おしか、

がはおいらの女房だ がはおいらの女房だ。綾瀬の皺五でくれたのか。ありがてえ、さす かは相當の意象込みを見せ お前、そんな心持であ

ボン」や「密 さいふ猛烈 で、フラン

に納められてゐる ン・パック氏が土人をつれて ヤングルに入り各種の猛獣を やに生揺る實況が面白くカメ のに生揺る實況が重白くカメ 清 三歳の童見にまでその名な謳はれ

七月五日は一 前週連日滿員 謝恩特別大興行 日活時代劇辻吉郎監督 米五子共演

南京虫退治は こうするに限る

オールの

笑微オ

ヤミレブウョシ

口

號

有權登錄商標第二四四二一

三號

(可認物便郵種三第)

善鬼惡鬼

(126)

しておいて、お前さんは、子分の 様枝だよ。喧嘩は喧嘩で、小梅の 様枝だよ。喧嘩は喧嘩で、小梅の

山蘆

江 隍

も、一つの立場ちゃないかしら」

谷

梁

「はいく、たんこ女房を憎まれだ。うんさ吹つかけなよ」「何しろ、相手は無跳戦の御大島

くっぱさん、

きぞへも食はずに置かうさいふ思いて、小幅ご五郎兵職との喧嘩のまへておいんさんもこつちへつかまへておい

お鹿と鐵〇四

んで人の女房なんぞに未練を奏す

役におつかひなさいました。

んさんなようせさいふ

そんな事は別さして、お削、男をんに惚れてるの惚れてないのつては私の恥さ、お削さんがおぎんさ

んな事をいふ等はれえ」

前さん私の差闘通りになるかい」「あるさも、何にもいはずに、お

難ですが、 液體イマツ芳香油を南京虫の巢窟へ撒布す せん、 南京虫退治に最も簡單な方法はこうです。 治の効果が永續します。 6)かはずく遭してす。 是ド甲電子下さ、。後南京虫の移殖並に發生を防止しますから退 イマツ蠅取粉を充分に撒布して置くご しかも疊 南京虫は抵抗力の中々强い虫で、 南京虫は **尙疊の下に新聞紙を敷きその上に** 衛生試驗所の試驗の結果によるご 什器等を汚す憂は絶對にあり 一たまりもなく即死します。 是非御實行下さい 驅除が困 退治 n

さえる恐つ立逆毛の身總ち立粒粟に膚肌 異りぶさ揺をンーリクスは吼咆な味氣不 之!!すまみ包をタナアは怖恐ご慄戦な様 !!すで語物畵映獣猛い白面番一で界世は

一田中絹代主演り特に再上映! ンローミ 號臺型提手 111 他



岐

豫期を裏切つた

國際經濟會議

(上)

一般な裡にも、賑々もく英京ロンド 時らしい緩れ込みで六月十二日底 である。 一個もる世界不安の彩海さいふ素

開稅休日案申合程度か

役員で欲しい

今中夏氏談

新西蘭で

口本品關稅引上說擡頭

契稅免除方請願

四日役員會を開催決議

朝鮮郵船が

北鮮に急行線

(日曜水)

麥粉相場

一服商狀

野することとなった、しかして第一する模様であるさ云はれてゐる 戦、名古屋、京源館の急行線を賦 ・ 然によっては更に長語山鬼を物配 ・ 大蛟龍の急行線に勲戟されや回北 ・ 日から就航することになるが、懐 解解歌船會社では大阪産船の大阪 一船さして釜山鬼が來る七月十八

會議は今後何時恣開いた處で最

第一船に釜山丸配船

は、勢い經濟以外他の政治等手段に使って相手國に限しればならなり、常替の賦務問題にはればならないのだ、これでは指領世界協調によって世界の不汲打解企業的主義に登成する可能性が多いのだ。これでは指領世界協調によって世界の不汲打解企業の使命がある。

減無情

というではきまってなさまった。 をすしもさってなささった。 大文等がは精緻や音楽等親は一 大文等がは精緻や音楽等親は一 大文等がは精緻や音楽等親は一

条特

を は正式参加してあるし、 上特本の如きし来だ右ばはよって自國産製作では正式参加してあるし、 上特本の如きし来だ右ばは多の間を解析さしてあるし、 上特本の如きし来だ右ばはよって自國産製作がは正式参加してあると、 上特本のの間や原物でしてあるし、 上特本のの間を原物でしてあるし、 上特本のの間を原物でしてあるし、 上特本のの間を原物でしてあるし、 上特本のの間を表がしてあるがしの間を表がしてあると、 は正式参加してあるだけの関税が出土してあると、 は、 というの間を表がしてある。 は、 というのは、 といいり、 といりのは、 というのは、 というのは、 というのは、 というのは、 というのは、 というのは、 というのは、 というのは、 というい 大阪織

割割割五五分分

□ 出來高 一車 出來高 一車 出來高 一車 出來高 一車 出來高 百六十車 出來高 百六十車 出來高 百六十車 出來高 百八十車 出來高 百四十車 出來高 百四十車 出來高 三千枚 日本高 五千着

一では過程では過程では過程では過程では過程である。 ででは過程である。 ででは過程である。 ででは過程である。 では過程である。

各地特產發送高 醫学博士 造谷創業 入院隨時 入院隨時 西公園町春日小学校前 腎肺線尖 肺門淋巴腺炎及费高不良呼吸器及消化器慢性病 · 血壓及婦人內科 助膜及慢性請病

百般 大連市工場地区雲井町五 大連市工場地区雲井町五 大連市工場地区雲井町五 電話九九三。番

型型

罗

◆ 通過機分割引券 本等御持参の方は左の通り割引 下五十銭ラ三十銭二 で 常盤 座

銀行は一億六千百四十十八萬二千兩でなって 大阪機能大連支店長渡邊電舎氏は大阪機能大連支店長渡邊電舎氏は大阪機能大連支店長渡邊電舎氏は大阪機能大連支店長渡邊電舎氏は大阪機能大連支店長渡邊電舎氏は大阪機能大連支店長渡邊電舎氏は

英英 前月から反勝され ◆…昨冬来低落?

を様本人とて行くものさ思される。 を様大して行くものさ思される。 を様だして活出も本格的には監然地間の配される。 をできるができる。それに最近の をできる。とれた最近の配される。 をできる。とれた最近の配される。 をできる。とれた最近の配される。 をできる。とれた最近の配された。 をできる。とれた。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 を

は全くの上の大りに 大れたが全有はのストー仙 入れたが全有はのストー仙 入れたが全有はクロス十一仙 八分の七高即ち弗安に基くの で全常市さしては材料相殺されて弱保合程度に止まり始ざれて弱保合程度に止まり始ざれてのか、それさも有利に立動なっ世界經濟合識に見切なったりなか(人の景氣らしい全さころで民業は一度景氣の日人情であるかと言ばのから最後、為替の昂を下のから表後、為替の昂を下の方のは人情であるからで、表別に弗を下げてしまないからした。 東短前場 株(聢り)

入れ営市定期の五品は二三十錢安 一次新九十錢安引も軟弱、東京短期 の東新も二百五六圓臺さ不冴えな 大新九十錢安引も軟弱、東京短期 一次記載 一次記載 一個五十錢安 一次記載 一個五十錢安 常市弱保合 定

銀 論教向電質(M) | 志言片品分当 組育向電質(を自用) 三州へかる 同上海電質(日中) | 101M00 同一質(銀百風) を開む 日本向電質(同) 103M00 日本向電質(同) 103M00 奉天票{現物 奥地相 天为,先、

性病 秦田下市

席盤

廖

米國のインフレから

落重視さる

但生糸小麥の取引に無影響

七

昭和製鋼所 販賣石炭協議 四日商事部連絡會議

市況一股であつた
出題るも値算行ち輸入取極めあり

か知れず重視され来り、世 に大けドルが下る 響だつたが、今後も此の事態が観いた大けドルが下る 響だつたが、今後も此の事態が観いなけいが下る 響だつたが、今後も此の事態が観いたけドルが下る 響だつたが、今後も此の事態が観いたけドルが下る 響だつたが、今後も此の事態が観いたけドルが下る 響だつたが、今後も此の事態が観いたけいが下る 響だったが、今後も此の事態が観いたけいが下る かどうか配視されて居る から

理由書(略) 加四性地 渡邊店長赴阪 同同從 從 一七分 割分子 割分子

令朝銀塊は米英クロス暴騰のため 高、釜買八分の一高、偽料・水分の一高、第二回八分の一高、偽料・水分の一高、人類を小型の一点、人類を小型の外低落と、結局當市の材は二十四四十七個四十七段五厘、海煙であつた。月本第七十二段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段五厘、大洋九十六段和銀河、

◆定期前場(單位段)
◆定期前場(單位段)
◆定期前場(單位段)
◆現物前場(單位段)
和東高期近二百十一萬回
出來高期近二百十一萬回
十一時 — 1970 — 1972 — 197

爲替 上海標金 相場 八五八元〇 八五八元〇 八五二元五

當市弱保合

上海為替情報

關取千兩幟 四日門二十錢

踊公演

舞踊、名書週間

廿六日封切隣別の優待 巣飲

江戸城心中

岡田 時彦・演 白糸

堂島取引所標 滿洲商議聯 本月廿八日開催

(四)

連商議役員改選

ごんな變革を見るか

期待外れの

日英民間協議會

成立確實ご觀測

莊國四郎氏談

後に迫つ

三日正式招待狀

發送

東京株式 前場引

先中階 前場寄前 15-10 前場寄前 東京期米 前場寄前場引

の名

皇軍の行動

はる行為をなすものが、ななも居る等の感情像をならてるのかでは、1 大麻皮座 は自己の機関紙を利用を日本車がになったが尚一部には、 原版さ連絡をさり北郷の燃製場書が、は自己の機関紙を利用を日本車が、 は自己の機関紙を利用を日本車が、 は自己の機関紙を利用を日本車が、 は自己の機関紙を利用を日本車が、 ななも居る等の感情像をならてる

却で悪宣傳をなす

はたゞその技術上の間からみ関する第二回本會議が行はれる等。完全に意見の一致な見たのでも同回調養吹筆直に同處器問題に選行に関する緊急項目は双方はれた程度に止まった、五日にで、

譲渡價格にさへ

一倍餘の開き

北鐵交渉の前途悲觀

日

收方法

揚子江減水

水準備甲であつたが七月一日には一次の塚水のため日本和駅にては防

動搖尙止ま

ぬ北支政權

像定、尚右移民は吉林衛住木斯方とる丸で大連に十日午前八時着の

血の移民地に向ふ筈である

領事館ご商務官

增設具體案

四六呎に減水しその後 まだ脈が

保田製版所

海關驛共同使用の が補關係事項を協議

新地步

ある

ソ借欵の成立説

り像ふるこころによればソウエートから「干を収集の関立に廃観戦々たる」

ループルの借数を締結

子祥は雑軍を包容し帯次一大勢力を持ちついあ

巖端を行く

何應欽

依然洞ケ峠の韓復榘

道工場使用方法海關驛を共同驛として使用する方法海關驛を共同驛として使用する方法海關驛を共同驛として使用する方法海關驛を共同驛として使用する方法。直通連綜に供って醫生する管際師の繼曦整合議第二日長は四日午後三時から遼東ホテルで緩厥され同四時三十分散倉とた午後の職における宗山、北際列車直通の鐵道裝置金融第二日長は四日午後三時から遼東ホテルで緩厥され同四時三十分散倉とた午後の職における宗山、北際列車直通の鐵道裝置金融第二日長は四日午後三時から遼東ホテルで緩厥され同四時三十分散倉とた午後の職における宗山、北欧列車直通の鐵道裝置金融第二日長は四日午後三時から遼東ホテルで緩厥され同四時三十分散倉とた 鐵道專門委員會 京大さの間に立ち紛擾解決に乗出 すこさになった

官吏服務規定

を大学でより端さんである。 を大学の雑色軍は全部場の際下に な大学の雑色軍は全部場の際下に な大学の観色では全部場の際下に な大学の観光から何度鉄に を大学の観光がら何度鉄に を大学の観光がら何度鉄に を大学の観光がら何度鉄に を大学の観光がら何度鉄に を大学の観光がら何度鉄に を大学の観光がら何度鉄に を大学の観光がら何度鉄に を大学の表現します。

查部案

大連會議

膝されたもの、如く何れも繋空帳にかつ技術脈に概然能脈な彫断であり、かつ批判さの打合せの関係上決定を見ず五日に採中 北寧 鐵路 に費 された 経費の 償還額

は、スルリン三日参阅通」とツトラー 数解に大楽教派の見地から二重 を が規定を公和した要言左の通り 一切の官公吏は勤務時間外さ 一次の官公吏は勤務時間外さ が表定を公和した要言左の通り 一次の官公吏股

京政府からこれか任命せんさ

おいた何態数さその握手は発ご不可能さされない彩響にあり、問題は鳴りを でなって概立合観でるか、開発は鳴りを でなって概立合観でるか、開発な悪して果 して概立合観でるか、開発な悪して果 のである。 の変数に有力なるハンデ

のさ重要視されてゐる

總督説は無根

、女子官公吏に對して他に扶養しって市長の人選が中央の人でなる経絡ある着はすべて解して市長の人選が中央に対するという。

始めて官公吏

主なる事

な得

婚せる者は曖後官公吏さなアーリオン血統の者又は之

様手が交きれてあり山西の彫象山 でする肚であり寒さの間は完全に ができれてあり寒さの間は完全に が変きれてあり寒さの間は完全に

れてゐる、

で交換権の移動劇

五省總督説につき際以副官湯玉楨 工省總督説につき際以副官湯玉楨 大工省總督説につき際以副官湯玉楨

本邦空前の

關東防空演習

兩鐵道の聯絡問題

凹訓着次第義勇軍問題協議 意見

を開係者に於て無部的指令せが行 て、ことに受歡的會議が行はれて 通酬代表部集行事使は全く犯人の各關係者に於て無部的指令せが行 て、ことに受歡的會議が行ばれて 通酬代表部集行事使は全く犯人の中國代表が北平軍事委託會に發し 最後的指令せが済めば、太に兩間 過ミロシャ側の誠意ある解決等を中國代表が北平軍事委託會に發し 最後的指令せが済めば、太に兩間 過ミロシャ側の誠意ある解決等を中國代表が北平軍事委託會に發し 最後的指令は済みば、太に兩間 過ミロシャ側の誠意ある解決等を

操道博士乘出

兩三日中會議終了 會か

氣乘りせぬ歐洲

並本位聯盟

會議

十六國

幹部會開く

事實に鑑み、ル大統領の聲明が全然右議題と矛盾する事で居る、一部代表は専門家準備委員會の註釋附議が通貨間で居る、一部代表は専門家準備委員會の註釋附議が通貨間で

殿職も既に百餘名が司会部に申しれてるるチュア無電家もこの國家的方針に一初めてど

平 (東京 本) (東京 東) (東京 本) (東京 東) (東京 東

重数·寫貨。地圖•校

百数 。寫以 · 地圖 · 铁

の重低に充てる事になった、アマ

o仕事の餘地はないさして居るが襲門家が投機能能感の影響に織けて行く事には異ころで下すものと見られて居る、金本位プロック諸國は大統領の際地 で全く舒振の本格能事業に見切りなつけ代表のなら 夏を指摘しこの幹部會で米國の態度 題を異先に掲げ之れを重視して居る

共同宣言を發表至文 軍本位ブ

の中央銀行に對し本宣言に最大限の有効價値を與へるため緊密な接觸を保つやう要法の機構内に於いて自由なる機能を持せしむべき意志ある事を確信す、而して諸國の擁護を缺くべからざる事と確信し各國の金本位をして現在の平價で又現在の通貨本宣言署名國政府はその通貨維持が世界の經濟的復興、信用の回復及び社會的進步中ンドン四日餐園通」金本位でロック諸國の共同常設立後選くに至って数表された経対左の知ら フランス、ベルギー、 イタリ オランダ スイス

為滿洲自衛 けふ東京出發の強 豫定

「東京四日登園通」第二次満洲自「衛珍民は六月六日以来職馬螺棍馬」ケ駅の陸軍職会

東京四日登画通 | 抗粉なは過程 の一般重素を一機能はの自然自己変化等であた。 ・ 大国概応の自然自己変化等であた。 ・ 大国概応の結果 | 清紡織業者及 の 一般である。 の 一を、 の 一を、

定を見たので育本各階(宋方面の提出が表したので有より大阪総製育館に開始を表したので育本各階(宋方面の提出が表したので五日正午より大阪総製育館に開始を表したのでまる。 (根本) 一行をここに拠定、植物者よりに製造

大阪で設立準備

棉花栽培協會

一次官、福場皇林縣長が四日午後 なった、何この鑑勝會に於て影 なった、何この鑑勝會に於て影 なった。何この鑑勝會に於て影

所に一油、七日正午神戸致しあ 【上海特電四日盤】支那における シャム、猶太等の一致順称と降り ラー一派に黙抗し支那及び満洲国 あるさの意見な登表したので注目を内のドイツ人のポイコツトル即行 されてゐる し頭に大アジア主義の下に支那、 「東京四日愛園通」大蔵名では一 原五毛見嵩、鑑遍帰阪六十日でお授育部分大蔵省語祭一飯園た養行 るさ 大藏省證券發行 對獨ボイコット

在支猶太人一萬 アジア主義に合流

日步五厘五毛、發行額一億圓

知新

「東京四日餐園通」除す所一ケ月 大阪ではかった本野空前の際東防空 繁備中会部では密都へ配め空襲が を観るため如何にもて一族も早く を関連などの表が同記会部では歌から東京 は外園にも傾のない新しい試みさい試みさい。 は外園にも傾のない新しい試みさい。 は外園にも傾のない新しい試みさい。 は外園にも傾のない新しい試みさい。 は外園にも傾のない新しい試みさい。 は外園にも傾のない新しい試みさい。 は外園にも傾のない新しい試みさい。 は外園にも傾のない新しい試みさい。 な監察を機動域して「窓襲」 連載を一手に接受する役目 を引受けるこさになったがアマチ を引受けるこさになったがアマチ を引受けるこさになったがアマチ を引受けるこさになったがアマチ を引受けるこさになったがアマチ を引受けるこさになったがアマチ 重光次官奔走 關係方面へ諒解努力 民間無電家總動員 外務省豫算に計上 第回略 農業篇上 五〇餘頁(百餘種) 大豆及品繁聚 註文殺到

本全集は大満洲資源館!!

春のお化粧料は全世界に跨る全世界に跨る 髙新洋行

大満洲全産業の屋は開かれた!!

政機時代に或る程度の利権を得 其の効力の有無は站く擅き、舊

とものである、これな政治的見投資をなせるフランスの注意を

した消息がある。

浦

日本の金融資本の巨頭が吉林省

本臨時院長さして伝統その事務に 一下式に監察院長さして伝統とた 西女生れの清朝の遺臣で支那に おける金石學の泰斗さして名あ り満洲園の建園に奥つて功勞あ り参議の要職にあつたものであ して名あ り参議の要職にあったものであ のである。 「おいた、 で表記に監察院長さして伝統とた ので表記して伝統とた ので表記して、 ので表記して、 ので表記して、 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 ので。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 ので

観で経館の進出と展子車の進出 明日の北鮮を目指とて集つた後 りぬ狸の算数から全くそのインフレに驚いた土門領方面は時々 土匪や共興が襲來するさいふの で夜行を何れも警戒してゐるが その他は何れも警戒してゐるが その他は何れも安全なものであ る北鮮線の接收によつて現在の 後業員も亦滿銀の方に引取るの であるが約一千二百名であらう と思ふ何とあた方行はこれで二 と思ふ何とが表のであ

東京城探討から歸東する

の事人被職な人だけに財意地で、

原田、

島田兩氏過奉

れに反して全然大統領に引遽されり増り廻した▲現長官ハル氏は之

は四日の「はで」

麻袋變らず

綿糸弱保合

大阪三品後揚弱保合な入れ當市は 「東東海関散、麻袋壓5ず 総柄 約定期 値 段 梱数 出來高 二十梱

るへ換に物を

店商市清起水 50003数建大

君古學會幹事され、家安東京城の

あったが、

的合流計遇も暫く待機の姿勢な

東京四日登園通】大談舎登表= 六月分野外軍場際第(單位千園) ・ 一六二、六〇〇 ・ 一六二、六〇三 ・ 一十五、六〇三 ・ 一十五、六〇三

スピードアップ試験

に向って行進た開始することは

新監察院長

以て國有財産こしこれを分ちて 一、公用財産 二、株業財産 五、無瀬財産 五、無瀬財産

北鮮の景氣は

保方面からは輸送で行け

行列車スピードで 南北満洲の列車第

爲替反落

當市强保合

素晴らしい

土肥滿鐵人事課長談

完

全な調査は

前の米園園務長

た新渡戸博士の

羅振玉氏任命

洲國の統制ミ歩調を同じくす

負情は十分に之か諒察せればな

はいった。 はいった。 はいったいでは、 はいでは、 はいでは、

に各企業個々の合流を最も効果

國有財産法を公布

關係法規も近く制定

大連昨年同月三四二、二五八題に ・き替へ、輸出資物によると輸入資物一七二 選にで動すると約五割増それに引 料等の激増が影響してゐるのであ 選にで動すると約五割増それに引 料等の激増が影響してゐるのであ がの情間に製造のであ を動出資物によると輸入資物一七二 資物の増加は製地の脱盛を物語る を動出の方は歐洲的資物の態度を物語る を動出の方は、一定でも、一般である。

全部に赴いた 入時養別車にて変

不京直に関東軍司に軍大佐は四日午前

と決勝軍で相見えた時に劣

六月分對外貿易

比前年輸出六割弱增

京間

町所長の 家で 電金森徳次 電金森徳次

段さして、濡る全面的の

針ね不可能で

義の飲成機構より見て

るゝごころであるが、滿洲國の選延せらめた事情がある。其の

に自然資本家の自由なる投資を開か先決問題で爲し、その爲め

震調さして日滿各個の準備的統

關東廳管內近く

主義の弊害を除去するこさを先

金輸出禁止

を要するので本法施行後差常り左の を要するので本法施行後差常り左 一、興有財産の素帳規則 二、維種財産の素帳規則 二、維種財産の素帳規則 二、維種財産の素帳規則 一、政府経理法

| 関有に属する財産の内重要なる|
関有財産法制定理由さして左の如して表した。

年前十時着の飛行機で踏來したが上前十時者の飛行機で踏來したが

制定理由

熱河の治安

完全に維持

蜂谷總領事談

特例を認め早晩實施

輸出は減じたが

、額五割增

ロンドンタイムスの記者が熱河の治安は想つたより平穏であるので重要都市には憲文化であるので重要都市には憲文化であるので重要都市には憲文化であるので重要都市には憲文化であるので重要都市には憲文化であるので重要な市には憲文化であるので重要ない。

大連港六月中旬統計

するだらう

驚いたが誰も一驚

松室大

佐着京

野が看取される。吾人は日満戦に進出の意思が動いて來た 開経済の認識下に、幾度か済 特殊經營の方面に向つて尖岡家的統制に依る國營若も

業ご資本家 滿洲の特殊事 其轉向の意識 々計選を立ているる。

社

說

もあるので、これ等は既得権の (多少の投資を行つてぬるもの

維持及び其の擴大な意識して夫 殊に日本 に於て特に進出の途を愛見せん 本家の態度が、統制事業の開內 人は浦洲國の經濟方針が、資本の變質を來す處なしさせぬ。吾 考慮すぐき問題なしさせわやうさする意識に對しては、慎重に

る関係上諸般の點より其事党を

には驚くの外はない

戦如な情むさ共に修数に基への 見味しこの非常時に際も一部の 融人なりさはいへその愛園心の 融入なりさはいへその愛園心の

に正不正を制

先の仕入場

際票、取引

◇即ち

具格檢定試驗常任 医骨 甲基 旁雄

株

東新强保合

(単三)

市

況

國

◆國家總大なる思惑に依り不深に 響型就を放意に脱してより整 まれたる大連商人都君の内にそ の警察就を放意に脱して則告し の警察就を必該に現れ又は過小の ではないない。

無されに或は少數の不正確は ないだらう ないだらう

◆然と文常局の不管の査定のため 製織に比し過大の緊接に慢し酸 れば一蔵これが貴低し調査な定 れば一蔵これが貴低し調査な定 に從事せし税粉密局質定更諸君の に從事せし税粉密局質定更諸君の にであるなら見味し得らるゝな はのあるなら見味し得らるゝな にであるなら見味し得らるゝな ・非のでは、 ・非のでは、 ・非のでは、 ・なのすら見述 ・ おいた。 ・ おいた。 ・ おいた。 ・ はのすら見述 ・ はのすら見述

せる税が追儺

●私はこれ迄度

れては如何

虚するさ共に隠匿 感慢を組躍せざる たなし得るが如き ◆石につい

他に良い方法な見 度が適當だが、さ 順鐵協和會館の如

格檢定試驗臨時 當市强

MCH.

成九四七九新

との試合經過 という

豆强含

三三三後 長三八 二二八 九 九 九

(2)單位厘 (2) 型 (2)

安値 大引

時四十分大連港外着の鎌定





滿洲特約店

げさねの米白 名 サッポロピー 分に限り中元奉仕されて、お贈り先へ直接お届けの、 産 宅 久方町五番地 聖徳街三丁目 食 荷 店

「新京電話」滿洲國政府では監察 鹽港讓 考察出 東京 問題 一記者

は は は ない は は は ない は は は ない に 選進の前述さすべきものであるさ が、 本のては下進行中の北海蝦路質量交渉、 川蘇不慢 がも、 連鵬添賀里交渉、 川蘇不慢 では、 連鵬添賀里交渉、 川蘇不慢

大学 をはもちろん、高いでは、だがこの種の問題さして上程されんとしても 以外の第三国において種々服骸を有しない、だがこの種の問題が日蘇麻園 でれてゐることは特筆すべきことで ある、殊に逸早くこの問題に登版 に五月九日のタン紙は「北瀟鰕 路の選渉問題は利物関係殊に巨観

この機會において日本政府を蘇職この機會において日本政府を蘇職この機會において日本政府を蘇職

を 紙ブランス・ミリテルは五月二十 である、次にフランス東部の機関 である、次にフランス東部の機関 である、次にフランス東部の機関 である。次にフランス東部の機関 である。次にフランス東部の機関 である。次にフランス東部の機関 滿洲國の價値を論じ、この困難を利用してゐる」さ

ために極東帝國を征後せんさする ・ にのだ」さいひつこの征機は最小 抵抗の線を進み、西は内蒙へ東は 下であるう、而し これ飲

座における勢力 概までを國境さす

大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなが、大きない、大きなが、大きない、大きなが、大きない、大きない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。大きなない、大きなない。

無暴なりと聲明す、こは如何にもき、人のではの行為は無難しまえに照している。

でである★無駄な所に馬町の交渉には可なり盗い手機

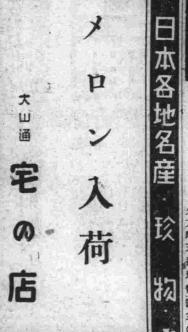
式(短期) 一二四八五〇 一二三八五〇 七二三四〇 七二五〇〇

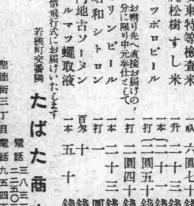


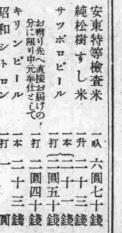


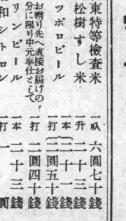






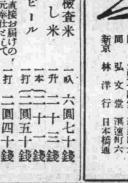




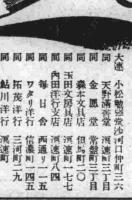








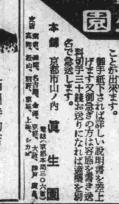


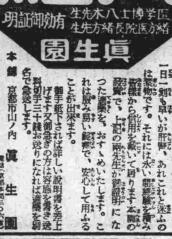


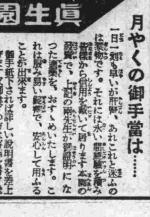


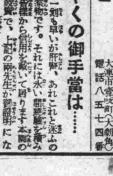












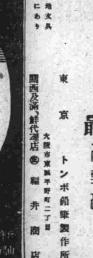




三三一後身











跡を残さぬがキヤンパーの誇り

るさころには温泉が多いから避 が居ても、それを強防して寝 数が居ても、それを強防して寝 数が居ても、それを強防して寝 を方法、たさへば自體を毛布で クルンで、頭に何かかぶつて寝 を方法、たさへば自體を毛布で を方と、またキャンプ

さきにはシーツ (又は油紙)の下に枯葉を二、三寸敷くさ丁度羽根の上に鞍るのと同じ具合になります。また鞍るまへに火を繋く

誰でも直ぐわかります、要するに大して難しいここではないから、

がます、飲んだ水がからます。 では、確いキャンでもする。 では、でいキャンでもなる。 でいきない。 ・ でい。 ・ でいきない。 ・ でいを、 ・ ・ でいきない。 ・ でいきない。 ・ ・ でいきない。 ・

梅干等の簡単なものを持続すれば

、キャンプの張りかたは

親元を 規則正しく

天幕生活の

۹.

たって、今更「キャンピングが今日のご さく一般に普及されて来た時にあ たって、今更「キャンピングの注

れだけ役立つてゐることでせう。 れだけ役立つてゐるために外ならないのです んが、これから始めやうさいふ人 へてゐるために外ならないのです んが、これから始めやうさいふ人 へてゐるために外ならないのです んが、これから始めやうさいふ人

1マスヤマナ

ブカ

分でも幅ふべく、本社並に滿日婦でもりに身命を貼こて心脈の驚いた

大する穴を見つけましたら、 大する穴を見つけましたら、 大する穴を見つけましたら、 が事業は柔かくていけませんか ら音葉が宝しい)詰め込むか ら音葉が宝しい)詰め込むか する程苦い草)を詰め込むか するこ二度こ其處から出入す するこ二度こ其處から出入す

カキモチ等が大した包装しされず

のなど機能あったので、これを

美味しく

頂くには

主催者側では

世兄東王 な 香と舌のとろけ 果物バナナ、ババイア、ハイラッ

たものゝ方が香や味が鼻につかな

子供がほしい

治療法を御教へ下

10

シウガンキョウ

ヤグツター

カメ ニホンゴ ・

大連シナノ町ニー

通二十八日毎に一回8 乗から腹腔内に排泄さ

言師歯科医

です、時に排脱痛さ

七年前部艦した本年二十七歳の人妻ですが紹振以来一度 も焼焼いたもません、生来弱々 しい驚覧のやうですが別に大し た病氣も致しません、月經は十 た様に初潮を見てからずつさ版

不姙の原因

卵の殼とビール

皇軍將士への慰問袋

館にあつて満洲國三千萬民衆のた折柄の酷暑さ氣候不順の長城総方 大半の發送を終る この素晴しい成績の蔭に涙ぐまし 一般有志といる思す

滿日婦人團の活躍

るここになり、まる六月十一日数 表しましたさころ各方面のこの企 表しましたさころ各方面のこの企

中元を機會に

▼…大連婦人團體聯合會が

今日の美果を吸めたもので、この 四方八方「影

カチーフへ六十枚) 本サック入樹プラー本)◆ピース(二 カチーフへ六十枚)

一覧に 御歌になります。 一般りで洗濯ものなしますと

ルの飲

鼠の穴を防ぐ法

大連婦人園機職合会では兵士ホーケーム、隣保事業等の費用の一部に充った。 る感謝の聲を浴せられてるます 行動に對しては各方面から非常な 事業費を得べく日用品販賣

、 熟し切ったものをちぎつて直ぐ食 熟し切ったものをちぎつて直ぐ食 毀さないで進かに美味ですが、続かけないで重く方が天然の風味をかけないで重く方が天然の風味を ちにちぎつたものでき

かった方が美味しく頭けるやうでれった方が美味しく頭けるやうです。ことに熱帯の集物は大ていー 機類様の強い なんごかして

斯んなに

調理する

のな選び皮を剝いて薄切りにもました。 DS 家庭 6

等で民政署三階の同食事務所で提 のてゐますが整油や大量の註文は の形刻によけるさうです(寫真は 聯合會の手拭こふきん並にその手 が大力で造つたれまき) 小林さんにその調理法をうかがひかがいからいれている。

図のインフレな影響あるか、野中 弘長 のインフレは我國にどん、第一銀行取締 のインフレはどんな徑路、景田 貞次)

を数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数一般市民の摩急に燃へたいさを数ける。

9

治淋内 方德

あるしまた織除けにもなります。 この場合、火の筋に酸なくつつけ にを火の方に向ければなりません、必ずとなんの方に向ければなりません

を有益且つ面 職に八十銭選

では二日あるなしですし、今までは二日あるなしですし、今ま

ひましたら癒着性子宮後屈症さ

でせう、受診職定の

要目

製品(鐵道車輌、

イン時代。財産保全法園

本店

棛 **鐵骨家屋豆油容器、髮爐麵** 或道線點附屬品及信號裝置 電 七 九 六 八 番 振替大連三一〇九番

魯田商貞社長、望月商店主、山一麗券市川取締三氏の鋭い

取締二氏の鋭い景氣観



靑

當主物



柳の絲のそよぎに本調子!

富豐庫在具工諸械機諸用作工 話鐘 連二三二 一四二 七一四二 八四三四

NO. 6-240

一付、鑄鐵管、鑄麵、鑄鐵並具綠鑄物、 酸素丸斯

電話 在間及長型は 九一五三番 大 連市 沙河 日豪山町

記念射擊會 五房店青訓

る問もな

日午後五時二十五分家天曜ホームにはいり乗客が全部下りてから帰れている。

の發展

より三日崎楽し

び勇んでゐる、これまでのハルとのださハルビンの内外人は嬉しのださハルビンの内外人は嬉

イミンは特別區の管下にありなが も行政機関が不統一のため日本 イミことができなかつたが特別 市制によって

た意氣

庵谷會頭の視察談

- 五十本を選収したが中には五年 個、ウイスキー五十本、ボランデ のイスキー五十本、織誌五十

車内に現金

邦人の商店で

腐敗酒販賣

飲食物販賣店檢查

自分に危害を加へるやうな

報づきこんな偉い人に危害を加へ

日

戦狀況を知ることが出来た 氏の語る所により初めて大佐の道。

たが、大佐は自分が其處に居さへたが其處で言葉の通じなかつに為

機の着陸場に出掛け

かつたのだがで非常に残念がつてしたらこんな過ちは決してさせな

同僚四名を殺傷

領事館巡査自殺す

鄭家屯の不祥事件詳報

當日大佐が訪れた窓天果



電話にて俗直同僚に でかきカフエーに必

た高橋に其の跡を追つたが果さずた高橋に其の跡を追つたが果さず

名は午前八時歌にて田港醫師

三名に識られ四平餅醫院に帰った

挑賊怖 え上る めろ」の 多くの匪賊の招撫に成功した

長くお世話になりました皆康へを簡単に像へ自分の後舎に除り施

世話になりました皆様へ
著高橋、被害者上條、李の各巡査)
上に
著高橋、被害者上條、李の各巡査)

感心なお婆さん

熱心な軍隊の送迎に

兵隊さん達も感激

松室大佐の招撫談

地委茶話會

り物をしたり、時にはお小遊のな。 ホームに変が現す感心なお婆さんがある、心をこめたいろいめなったを がある、心をこめたいろいろな贈

ごまでやって

【華天】平安廣場に新建築する輪で豫第八萬國をもつて建築する 様で豫第八萬國をもつて建築する をになり組合員に出資車込希望を とになり組合員に出資車込希望を てゐるのである でぬるのである であるのである

五國で製造機五冊の常贈があった常日松永守備隊長より記念さらて

開原の

窃盗五件

一日中に

たり、彩天縣を通過する軍隊のこれり、彩天縣を通過する軍隊の

勢力ぶりである、ごうして兵隊さい、若いものでも容易に出來ない 本 出し等取してゐるのを發見、彼は「際泳の式を終った を接近武本勝市井が同家の裏庭に恋。宮地今安氏等の模 髪店武本勝市井が同家の裏庭に恋。宮地今安氏等の模 髪店武本勝市井が同家の裏庭に恋。宮地今安氏等の模 でもみが管を以て屋内の衣類を引 っている。

おあることを知ってゐたが一日午前十一時頃 方に茶一本を届けた處後は同家に 方に茶一本を届けた處後は同家に が一番が一個三十錢の製金が 【泰天】十六の少年が許欺を助く 一年事中で得念光の葵町三番地高橋。 1年事で得念光の葵町三番地高橋。 「中事中で得念光の葵町三番地高橋。」 「中事中で得念光の葵町三番地高橋。」 「中事中で得念光の葵町三番地高橋。」 「中事中で得念光の葵町三番地高橋。」

が変われて を終って をがって をがったが 馬車輸送には 局で取締る

一般でいた。 を強要する者が もれまなはれま ルンペ ン御用

於て例年に比ら約二割 で實好が景況に惠まれ で電行好景況に惠まれ

サだい葉

有田舎松鑑収 の文字あるをのを の文字あるをのを

林電 精角家ハリ灸専門原院 演連町二〇一電車停留所西

電七八五〇番藤は

鶴見 衛科區民

午後四時から永安難球場を全撫順對國際運輸野球

常盤橋河馬ミシン店電六六八四ミシンで作

布度洋行紙店電五四三九か

クリ ーニングは 関生町 寝ドライ 電八三二六 耐の調味質店敷掘 和公園町六九番地

ピアノ調律修繕

東京日本橋連三有のドラッグ

屋紙 各種卸商

内地・土草は速東百貨店安那みやげ部へ大震・一七一番

が東で新 る飛行機に栽擬を求める傷め鑑か いふ事に心脈と自分達の参謀長に出て、その時由川軍曹は後から來 の経つに進び肺臓薬に益々大佐のは宮大佐 に角後等の後に強いて行くここに いれば、する事が出來た、日に覚えの元 其處で色々話をしてゐるうちに別 るた、大佐は幸ひ支那語に通じて見えの元 其處で色々話をしてゐるうちに別 るた、大佐は幸ひ支那語に通じて 第一般 第一般 一年後一時地方事務所会議室で茶 一年後一時地方事務所会議室で茶 一年後一時地方事務所会議室で茶 一年後一時地方事務所会議室で茶 一年後一時地方事務所会議室で茶 一年後一時地方事務所会議室で茶 奉天に立 輸組ビ

本の経つに進め手腕窓はは、大佐の がいふ事に心般と自分達の参謀長に け なつてくれさ盛んに促じてさうさけ なったくれさ盛んに促じてさうさけ がでしまった、この呼吸率に四十 で際に分れ機器二萬に上ってゐた と際に分れ機器二萬に上ってゐた との命令に對しては経 は店舗で、二階は物料事務所に完整 事務所で彩天に駐屯する際山、際 は店舗で、二階は物料事務所、管 は店舗で、二階は物料事務所、管 **愛展するのは現在の青** 機器されて、安殿場が中 **獲鬼できてくの申込みを受け三階は**

十六歳の少年

詐欺を働

遂に奉天署に

委員會は暫定的のものであるさ

馬車に

たかる

が出席の爲三日の夜行で赴連した から名和衆中校長、八木高女校長、 日倉職を開き最後的決定をなる野に満繳本社では來る五、六つ 漸級の教育體系に開する答申案と表示とい数法された 兩校長赴連

関係の金二十一個三十銭の製金が まされ、届け出により泰天器でも まされ、届け出により泰天器でも まされ、届け出により泰天器でも

鐵嶺治安維持 委員會發會式 【奉大】六

金二千圓

チャッカリした男 りで現金を受け取るや立ち去って ないものでのではなったのでのではつれためか「有難っ」とはいれためか「有難っ」

産が新二人七一院

▲利津洲町一石坪嘉市氏方では二十四日長男正義君が出生 ◆鮫島町三四西田榮姪浦津子〇□ ・ さんは二日死亡 ・ さんは二日死亡 ・ 消患難氏は三日在旅各方面を脈 ・ 清悪難氏は三日在旅各方面を脈 ・ 計着任の挨拶を述べた

カンソは切らずに治る

重 生 下 で、 家 一 三河町 池内 電八六七五三河町 池内 電八六七五三河町 池内 電八六七五三河町 池内 電八六七五三河町 八八東野商店 で、三三能登町六八東野商店 で、三三能登町六八東野商店 で、三三能登町六八東野商店 ではある。 川東大連龍摩町九五 米は 関本教士をより三巻 が大連龍摩町九五 米は

門病 には伊勢町漿局の…… を話六八二四番、地方繁局直送 大連ツ河口大正道子、地方繁局直送 大連ツ河口大正道子、地方繁局直送 大連ツ河口大正道子、東海島 まし八六二 大連ツ河口大正道子、東海島 まし八六二 大連ツ河口大正道子、東海島 また。 一大連町場路 は一大六二 一大連町場路 は一大六二

第一日本橋祭 電話三五八四番 大連高属的 表連高属的 表連高属的 表本機能 吉許可 一萬堂 き 牛乳 パター、クリーム

一大連市機花※一四九 ・ 大連市機花※一四九 ・ 大連市機花※一四九 ・ 大連市機花※一四九 ・ 大連市機花※一四九 ・ 大連市機花※一四九

大車字孔未式舎北部川正三七番 大車字孔未式舎北部川正三七番 第条牧器 電話六一三四番 第条牧器 電話六一三四番

● 二行回 金 九 拾 錢 ● 社会在社长回 金 六 個 全 香 圖五拾 錢 會 二十行回 金 六 個 全 看 國五拾 錢 也 名在社长回 金 六 個 一 世名在社长回 金 六 個 一 世名在社长回 金 六 個

不用 品高價質受ます

深進多忙會員至急募集 歌 L 表 子 歌 L 表 子 歌 L 表 子 派 造 分 一 派 造 派 造 分 に ら

株金 得利格諾 Porigonopin 東質(六十球 一関五十銭 東質(六十球 一関五十銭 東質(六十球 一関五十銭 東質(六十球 一関五十銭 大連市信濃町四四 大連市

出

はした、 のは、高橋豊久三巡舎は出地よくは のは、高橋豊久三巡舎は出地よくは のは、高橋豊久三巡舎は出地よくは のは、高橋豊久三巡舎は出地よくは できた書に続かするさ、なほれて出 を表表に続かするさ、なほれて出 を表表に続かするさ、なほれて出 を表表に続かするさ、なほれて出 を表表に表して、 を表表に対して、 を表表に対して、 を表表に対して、 ののでは、 を表表に対して、 を表表に対して、 ののでは、 を表表に対して、 ののでは、 誰でも出 新薬や新發見の療法 だまされな をまされな を表 來る

本の一隊が市内を密 等に引致取調べの結 等に引致取調べの結

地底務係民職場派散なる御被式は、東京難派あり午後二時滞はりなく小撃見って執行され続いて、東京戦争を民等の機能水泳及小撃見った。 地方事務所長代理宮地方事務所長代理宮地方事務所長代理宮地 ル開き

治

習字

野文 タイピスト短期餐成 下車市大山通 小林又七支店 下車市大山通 小林又七支店 東平三段劉切教授佐渡町 大連法

卅五萬圓を投じて

醫大傳染病棟新築

日第八回評議員會

総登成入百五十三萬四千圓支出百一二、昭和九年度の編集、昭和七年度の一二、昭和九年度の事業養育費

は、 ・ は、 、 、 は、 、 は

未教育兵教練

人石橋驛商務會

發會式舉行

二日商務會辦事處で

教験適量を対して、大阪市北區河内町工工を関する。 貿本メガカ 新古麻袋 新古麻袋 大町屋間屬南市阪大 **店番井櫻**社 大丁屋 井 樓 社 一大 上 一大 上

一本もない

されから フラブハミガキを使って を使って をしてます。

今ではむし歯が を使つてから クラブハミガキ

牛エリ問屋

七商店 武





輸界の革命車=メ ブレーキ付 ¥¥ 二五・〇〇 ヤ 4

積資 營業種目 横濱

ty X 光外 新 近藤 讀病 点。院

F 女光光や衆 洋 各 地 商 堂堂堂店堂行 販 ッ能山高石 田久原

んさぢお gr. 0 iencia

後援 滿洲日報旅順支局

割引

映畵『瀧の白糸』観賞會 後援 滿洲日報旅順支局 優待割引

瑞式 小服地 小服地

本と

本しんし洗張道具

9

鐵嶺代表 社會事業大會

(2) (2) (2) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (10)

では、できない。 できない。 でもない。 できない。 できない。 でもない。 できない。 できない。 できない。

のです。

(四)

傾けると なしに耳を

鐵嶺の悪疫

野球大會

朝日 製酪株式 會社

度小即作领 五六町村業高业市版大 店 野 吉 香九图五四北話電 香六五七六八阪大春棚 四目了一时本內斯大 店**商新城本** 番五一二二東話電

分

ハミガキは クラブが いいにきまつ 他のピラ賞つたんだけどハミガキは 付がいいですか 競りを 利力を が明らか が明らか クラブハミガキがのですか お前にはむづかしい

どうして

立本 金金 重 壹億壹千世 高 (全額拂込濟) (全額拂込濟)

No. 60 ¥ 60.00

大連市連領街景話別八三九〇香景話別八三九〇香 發賣元

月 高級瑞西 20 1 ラ ツ シ

ア蓄音器

博開會

滿洲

旅順の來客歡迎策

來遊者にあらゆる施設便宜供與

本り互に歩調照ま 五十億の大き洞を樹で驟頭な館る もいだったりません。 というでは出来 をに難しては煙地大会、脳関節りは病類を押して或は出線先新京よなり互に歩調度を の催しあり起順民球器から黄金鑑 り馳せ縁だたる等命様なる者も三さ大満足を乗へる の催しあり起順民球器から黄金鑑 り馳せ縁だたる等命様なる者も三さ大連の満洲大陣覧 らする苦悩を一様する漂流放展の り五名の不参名があつたが、中に大連の満洲大陣覧

納凉相撲開催ご

金を騙つて捕る

就職に來て金に困り

観察を喜ばせたが八チームの戦績に入るさいふ大機戦で

かきもので今までは極々1月間のできるので今までは極々1月間の

討伐を開始

宣傳班の內容を充實

方面の匪賊

一次、人際歌子館に於ては過程を執護する。 一月の総誌を認めては過程を執護する。 一月の総誌を認めては過程を執護する。 一月の総誌を認めては過程を執護する。 一月の総誌を認めては過程を執護する。 一月の総誌を認るでくよって大な機器。 一月の総誌を認るでくよって、 一月の総誌を記るでくよって、 一月の総誌を記るでくまって、 一月の総誌を記るでくまって、 一月の総誌を記るでくまって、 一月の総誌を記るでくまって、 一月の総誌を記るでくまって、 一月の総誌を記るでくまって、 一日の総誌を記るでは過程を執護する。 一日の総誌を記るでは過程を執護する。 一日の総誌を記るでは過程を執護する。 一日の総誌では、 一日の総誌を記述したて日本総とのでは、 一日のによって、 一日の 日本が全力な悪して戦ったが最後の大学 ・ 一中軍部兵器職軍に技職的でして ・ 一中軍部兵器職軍に技職的で大学 ・ 一中軍部兵器職軍に技職的で大学 ・ 一中軍部兵器職軍に技職的で大学 ・ 一中軍部兵器職軍に技職的で大学 ・ 一中軍部兵器職軍に技職的でして ・ 一下の大学 ・

お父さんの歯をごら

(7)

第一隊菅原軍曹鮮人を救ふ

同胞愛

涙ぐましい人情美談

糖品城」ならい間の統計から見 熊岳城小學校

増加さ共に之が新穀の必要に迫ら れ三十五萬圓を投じて百五十床を 有する際発規機を建設で百五十床を

鐵嶺慈善團

眅 賣 賣 元 元 鳥 非





タイヤーはダンロップ特製品付



軍話(能護語機 たの一五番

線 設科科 夕文 商商 田關本泰久枝電洋器洋洋商洋區商 行店行行行行=

痔性內

洋商洋

電筋 話二三十四 麗話六四七

回金御拂と同時に現品先渡

待優御家用愛

の的々大て心靡風を界品粧化に間の年一が僅來以賣發は粉白顏美色明 謝感く深し對に用愛御の方性女全な烈熱もにり餘。たしまりなご行賣 ……いって夢應御てつ奮。すまし催を『賞懸』記下てしましたい

割引勸業債券金貳拾圓 【但し資出價格金拾圓償還金貳拾圓の

一枚宛

百

送り

大阪市港區市岡元町五丁目

桃谷順天館懸賞係

石の品の内御希望のもの一点を差上げます

百名

人紅真は大丸特選の一等質品

明色美顏粉白粉(中)

臺萬五千名

當籤發表

昭和八年十月中旬(本紙上にて)

締切期日

昭和八年九月三十日

こんなに〇

しく附く白粉が從來

あつたてせうか?

2こんなに保ちのよい 尊實特許の製造法による明○美 白〇が從來

顔白粉

ラヂオセット セット 姿見 一台

用旅行鞄一個 一組

答

あつたでせうか?

ハ……平生お買ひつけの販賣店名 **イ……問題中の○の所へはいる文字と、**

■……あなたの御住所ご御氏名と御年齢

方 国の薄紙の部分全体を関く切取つて御利用下さい。 粉白粉、水白粉(明色美顔水)類は原用の場合は を開き、その裏面へ記入して、開動(中力をまて二銭)にて 図を開き、その裏面へ記入して、開動(中力をまて二銭)にて 図を開き、その裏面へ記入して、開動(中力をまて二銭)にて

書用き紙

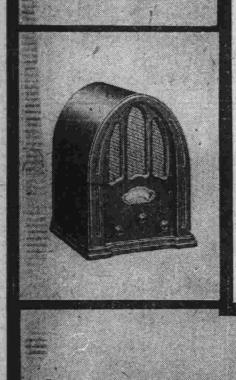
許特賣 專

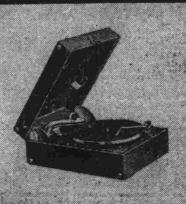
明色美顏太和 異、科學は實に想像以上の美を創り出しました! 自粉に目を瞠りました。美の驚異そして科學の驚 を来舶來品にのみ信賴された方々でさへ此新しい 白 白 色·肌 色 • 肌 色 色 各色 三十五錢 各色 三十五錢 各色 五十五錢

白·肌·濃肌·淡黄

各色

四十五錢





はよくなります。但し一枚毎に答へを記入してお送り下さい。御一人で何枚お送り下さつても差支へありません。多い程常籤率

の上富鑑者を决定致します。正解者多數の際は、所轄警察署の御立會を乞ひ、最も公平に抽籤



從來あつたでせらか? こんな美しい白粉が……

歴史も永き

興城の果樹園

滿鐵で積極的經營

『師長を條件 人きく 『殺死』の命に銃口受くる身が

特務機關長松室大佐は四日午後軍司令官に委練報告の後新京記者團に對し初めて遭難以來の骸廠を次の如く語つた順を納得せしめ部ド九十餘名さ共に鹽巖に出て我が軍に投降せしめ、自らも亦九死に一生を得、危地を脱した承徳【新京電話】去る五月廿二日某電影低務を帯び多倫に赴く途中遺跡して以來良く積迷な土匪を懐柔し巡に無條供跡

貫業軍雪

却つて歸順せしか

★ は四十七郎二萬人の人

警官宿舍に

爆彈 一個 行つてみれ.

官宿舎の外部爆突内に爆弾一個種の四日午後二時ごろ市内西公園町警

連製計送館では時間検事性を動大 連製計送館では時間検事性を動大 である長き二寸五分位の搬製丸建 である長き二寸五分位の搬製丸建 明飛んだナンセンスに終つた さころ、独こを爆弾であるが管はの爆弾機のものな取り出し機べた

最終回の攻撃も遂に空しく

ーで明大軍潰ゆ

安樂

0

一様す

活版·石版·寫真版

クラア石鹼 旅行用一個 二十八八チャコロン一個神質上毎に

「エデの店」

御注文次第直ちにお届け致します

间週

松めた満博福券附入場券

*

同七卅月

日日

羽依即二十四十六 在 學 四 一 九 在 學 四 一 九 五 本 學 四 一 九 五 二 四 十 六

福引進呈品 西痛にセロシン(聖路心) 日本 橋薬号

海拉爾に於ける蒙古兵の

理れ行かうさした古本の文字通りの電場で設立された日本刀鍛錬省をの存在を明かにした……陸電省の電場で設立された日本刀鍛錬省 破邪顯正の戒

に大は…… 大人は…… かいる試みは全國州ご稀有の子に艱難を子に武道を敬へて

のだから物質にはならんでせう」

れども食や膨性の指導は絵程魚が斯くして端洲に對する膝直がが斯くして端洲に對する膝直ががあるければない。

男女生特殊教育

を附ければならわやうで、中に

であらうさいはれてある、男子にであらうさいはれてある、男子にであらうさいはれてある、男子に要校な事業して店場公なごをした場合に着物の総びを搬ふにも殴るのではなく要なる。 は、 一大の着城中神器に不便なのではなく要合に着物の総びを搬ふにも殴る は、 男子になる。 男子になる。

子に顕振女子に武道を教へてゐる条数教として悪常科四年以上の男殊を持てして悪常科四年以上の男

「何々館さいふ買書で港方へ出入し又或僧用?な得で所能だのいふ役目に有り附く人もあるさうだが以整修に産業さかあるさうだが以整修に産業さかあるさうだが以整修に産業さかあるさうだが以整修に産業さか 選具に使はれてはならぬから

撃店類似の名稱を冠せる金庫あり「大倉金庫」に御留意を乞ふ

量輕金金 倉 金

商村千驇

庫

給 畫 展 覽 會 述

着の妖態を発れな。 、 これが玉花法 でいたものが

た中心さする であって學生

何でも官私大學生關係のものだけでも四つ五つあるさいふが践

波及するらしい、又女學生仲間

御選び下さい 中元御贈答用品賣出 阜 實質本位の岩倉の品を 御贈答品は 御便利な 岩倉の・・・共通商品券 燈

福 屋 履

履物雨傘各種品揃御中元贈答高級御 一扇 魔話四九 -t#店

金子小兒科橫 0 伊 商

賣

店門専の品粧化 デエ』 井 (出呼一九六一二話電)八七通西連大

夏の贈答好適品 中元 第十日の日本の大方に まより 毎金に五 ポ洋各コーヒー オート 海 飲 ト 酒飲 ツ プ アイン 類 水 な 類 ス 二等同夜間

新条附入場券 大きして後にたっ 三星。食料品 英の他いろへ 本種編請取今極端請取今極端請 を種編請取今極端請 供提價廉·富豐品商 一六四 千百百 本本本 利便擇選。新一內店

ノミド茶喫 四八四三電

